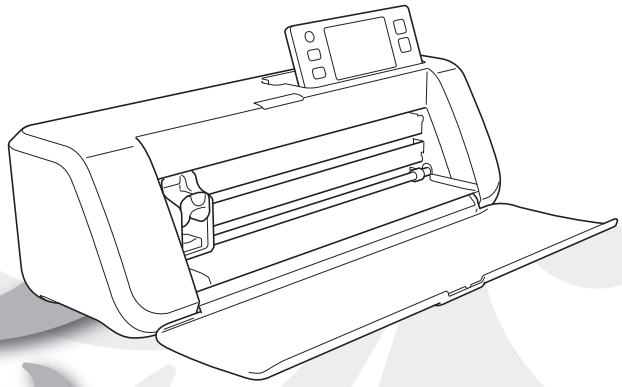
brother

カッティングマシン

取扱説明書

CMZ01シリーズ



●ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
●取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

商標

IMPORTANT:

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software, you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third-party copyrights are the property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors “as is” and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。
本取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合、火災・感電・やけどや窒息などによるけが・故障の原因となります。

重要なお知らせ

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- その他の製品情報については、ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp/) を参照ください。

安全にお使いいただくために

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示します。
重　要	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
	「してはいけないこと」禁止事項を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を濡れた手で扱うと、感電する可能性があることを意味しています。
	製品を水にぬらすと、感電する可能性があることを意味しています。

	「しなければならないこと」義務行為を意味しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。

安全上のご注意

下記の注意文に従って、本製品を安全にご使用ください。

電源／ AC アダプター

⚠ 警告	
	AC アダプター、電源コードは踏みつけられることのない安全な場所に配置してください。次のような、電源コードを破損させる行為はしないでください：傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、引っぱる、ねじる、たばねる、物をのせる、はさみ込む、金属部に接触させる、折り曲げをくりかえす、ぶらぶらさせる、壁に押しつけるなど。 火災や感電、故障の原因となります。
	本製品専用の AC アダプター、電源コードの組み合わせ以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 本製品専用の AC アダプターや電源コードを本製品以外には使用しないでください。
	AC アダプターは家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）以外では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	DC 電源またはインバーター（DC-AC 変換装置）を接続してのご使用は絶対におやめください。火災、感電の原因となります。本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事士資格を持つ専門家にご相談ください。
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。火災や感電、故障の原因となります。
	本製品を電源コードの上にのせないでください。火災や故障の原因となります。
	火気・熱機器に近づけないでください。AC アダプターの被覆が溶けて火災・感電の原因となります。
	長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず AC アダプターを本製品およびコンセントから抜いて保管してください。
	清掃など本製品をお手入れするときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。感電のおそれがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体（金属でない部分）を持って引き抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。
	傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。 電源コードが傷ついたときは、使用しないでください。
	たこ足配線はしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	AC アダプターの端子に異物を入れないでください。火災、感電、やけどの原因となります。
	濡れた手で AC アダプター、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
	電源プラグに液体、金属物、ほこりを付着させないでください。また、水がかかるような場所で本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 警告



AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電・けがの原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。



電源プラグがほこりなどで汚れているときは、コンセントから抜いて、乾いた布で拭き取ってください。汚れたままで使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意



いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

重要



電源コンセントの共用にはご注意ください。
コピー機などの高電力機器や携帯電話の充電器と同じ電源コンセントの使用は避けてください。
ノイズが発生したり、本製品の操作に不具合が生ずることがあります。



AC アダプターを取り外す前に、必ず本製品の電源を切ってください。本製品動作中に電源コードをぬくと、故障の原因となります。

設置場所

本製品は、平坦で傾きのない、安定した、振動や衝撃を受けない場所に設置してください。
本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
温度：5 ～ 35 ℃
湿度：20 ～ 80%

⚠ 警告



直射日光のあたる場所、急激な温度変化や湿度変化がある場所、湿度の高い場所（台所や風呂場、加湿器の近くなど）、結露の発生する場所、ほこりの多い場所には設置しないでください。温度や湿度の高い場所でのご使用や保管は避けてください。漏電による感電や火災、故障の原因となります。



火気や熱器具、揮発性可燃物や極度な高温を発するものの近くに設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
可燃性のスプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。やけどなどのけがの原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れたときは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。



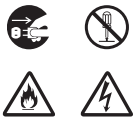
本製品に金属や液体が入らないように、本製品の上や上方に、下記のものを置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- クリップやホチキス針などの金属
- ネックレスや指輪などの貴金属
- コップ、花瓶、植木鉢など、液体が入った容器

ペットを本製品に近づけないようにしてください。
誤って本製品の中に何らか異物が入った場合は、電源コードを抜いてから、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意	
	ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に設置しないでください。また、本製品のいかなる部分も机から突き出さないように設置してください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
	本製品は段差のない平らな場所に設置してください。 段差にマットがひっかかり、正しく動作できなくなります。

重要	
	振動の激しい場所や、電気的なノイズの多い場所、静電気の多い場所では使用しないでください。 本製品が正常に動作しないことがあります。

安全な操作のために

⚠ 警告	
	本製品を落下させた場合、破損、故障した場合、水や異物が入った場合は、すぐに AC アダプターを本製品およびコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。
	使用中に停電したとき、雷が鳴りはじめたときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。
	使用中や保管時に、異臭を感じたり、発熱・発煙・変色・変形、そのほか今までと異なることに気がついたときは、AC アダプターを本製品およびコンセントから抜き、使用を中止してください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご連絡ください。
	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
	取扱説明書に記載されているお手入れを行う際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意	
	本製品を操作するときは、衣服の袖やネクタイ、髪の毛、装飾品などが巻き込まれないようにご注意ください。巻き込まれるとけがをするおそれがあります。巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて、本製品を停止してください。
	刃を手で触らないでください。けがをするおそれがあります。
	操作中は、キャリッジの動きに十分ご注意ください。また、ローラー、キャリッジ、ホルダーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ホルダーの下には、指を入れないでください。 また、トレイの下、フロントトレイカバーの間や操作パネルの下などの可動部に指を挟まないでください。けがをするおそれがあります。

⚠ 注意	
	刃を出した状態で、ホルダーの先端を手や指で触ったりこすったりしないでください。けがをするおそれがあります。 ホルダーを使用していないときは、刃はホルダーの中に収めてください。
	製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。 * 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。
	マットの端を手や指でなぞったりこすったりしないでください。けがをするおそれがあります。
	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
	本製品は、必ず取っ手部を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、けがの原因となります。
	本製品を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
	本製品には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。

重要	
	カットするときは、カットする素材に適した刃の出し量に調整してください。刃を出しすぎると、刃が欠けたりマットが切れたりする原因となります。
	欠けた刃は使用しないでください。正しくカットできなくなります。刃が折れたときは、刃の破片をカットする素材から取り除いてください。刃の破片を取り除く際には、ピンセットなどを使用し、素手で直接刃に触らないようにしてください。
	マットが動く（排出される）範囲に AC アダプターや電源コードなど、動きを妨げる物を置かないでください。正しく動作できなくなります。
	マットの上に大きな物を置かないでください。
	マットを無理に引っぱったり、折ったりしないでください。マットが破損すると、カットやドロー、スキャンなどの操作ができなくなります。
	破損したマットを使用しないでください。
	ご使用前にマットの端が汚れていないことを確認してください。マットの種類を読みとれず、本製品が正しく動作しなくなります。端が汚れていた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
	本製品専用のマットを使用してください。本製品に適さない、金属シートのような固い素材をカットしないでください。故障の原因となります。
	ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。動作中に剥離した装飾がスキャナーやローラーに付着して、故障の原因となります。また、刃が破損する原因となります。
	本製品動作中に、マットを無理に引っ張ったり、押したりしないでください。刃やホルダーの破損の原因となります。
	長期間、カットする素材をマットに貼ったままにしないでください。マットの粘着剤が素材に移るおそれがあります。
	マットは、高温・多湿・直射日光を避け、室温で保管してください。

重要	
	非常時にやむをえずキャリッジを手で動かす場合は、ゆっくりと動かしてください。速く動かすと故障の原因となります。
	ホルダーを取り外すときは、キャリッジが動いていないことを確認してください。
	操作中に電源コードをぬいたり、USB メモリーを取り外したりしないでください。USB メモリーやデータが壊れるおそれがあります。
	本製品の電源ジャックや USB ポートに異物を入れたり、ふさいだりしないでください。
	USB ポートには、USB メモリー以外は接続しないでください。故障の原因となります。
	本製品でカットやドロー、スキャンをしている間は、タッチパネルに触らないでください。
	本製品に注油はしないでください。故障の原因となります。
	本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装がはがれたり、傷の原因となります。本体の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
	本製品に貼られているラベル類（製造番号が記載されたラベルなど）ははがさないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

スキャンに関するご注意

スキャンを行うときは、以下の点にご注意ください。

- 法律で禁止されているもの（絶対にスキャンしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき
  - 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券
- 著作権のあるもの
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でスキャンすることは、禁止されています
- その他注意を要するもの
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

スキャナー読み取り画像の原稿再現性について

本製品を使用してスキャン素材を読み取った後で、当該スキャンデータがお客様の必要とする精度・品質を満たしていることをご確認ください。

スキャンデータの一部に欠落や損失が起こることがありますので、以下の点にご注意ください。

- スキャン素材の状態によっては、読み取り時にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。
  - ▶ スキャン素材にシワ・折れなどがないことをご確認ください。また、スキャン素材は正しくマットにセットしてください。
- 本体内部がよごれた状態でスキャン素材の読み取りを行うと、かすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。
  - ▶ 本体内部をこまめに清掃してください。
- 読み取り設定（スキャンサイズ・解像度）によっては、スキャン素材が以下のように読み取られることがあります。
  - 解像度不足で画像が不鮮明となる
  - 画像の一部が欠ける、またはサイズが縮小される
  - スキャン素材の途中以降のスキャンデータが欠落する
  - スキャンデータの縁に余白が付加される
- 次のような材質の素材は、スキャンニングしないでください。
  - クリップやホチキスの針がついている
  - インクが乾いていない
  - 金属製、OHP シート
  - 光沢シート、鏡面加工されている
  - エンボス加工が施されたプラスチックカード
  - 推奨された厚さを超えている
- 所定外のスキャン素材の場合、または所定内のスキャン素材であってもその状態（シワ、折れ、スキャン素材のセット不備など）や本製品内の送り機構・消耗品の状態によりスキャン素材が詰まることがあります。この場合、スキャンデータの一部または全部が欠落することがあります。（スキャン素材が詰まることによりスキャン素材を損傷する可能性があります。）
- 蛍光マーカーを使用したスキャン素材の場合、マーカー色や濃度により色を読み取れない、または色調が忠実に再現されないことがあります。

目次

はじめに 1
重要なお知らせ 1
安全にお使いいただくために 1
本書で使用されている記号 1
安全上のご注意 2
製品の特徴 9
模様（模様モード） 9
スキャン（スキャンモード） 9

1 準備・設定 10

各部の名称とはたらき 10
正面 10
背面 10
操作パネル 10
模様をカットする前に 11
緩衝材を取り外す 11
操作パネルの角度を調節する 11
本体の電源を入／切する 11
液晶画面の操作 12
紙／布を準備する 12
マットと刃の組み合わせ 13
刃の出し量を調整する 19
ホルダーの取り付け／取り外し 20
試し切りをする 20
本体設定 24
設定画面 24
オートシャットダウン 25

2 基本操作 26

模様をカットする 26
チュートリアル 1　模様をカットする 26
チュートリアル 2　多色の模様をカットする 28
模様を選択する 32
1 つの模様を選択する 32
複数の模様を選択する 32

3 応用操作 34

カット／編集機能 34
模様を編集する 34
模様を編集する－多色の模様 35
模様レイアウト画面 36
レイアウトした模様を編集する 36
模様を結合する
（複数の模様のアウトラインを合体させる） 37
模様を自動でレイアウトする 39
背景画像をスキャンする 39
文字入力機能 41
メモリー機能 42
データを保存する 42
データを呼び出す 42
ドロー機能 44
ドローする 44
ドロー線の周囲をカットする 45

4 スキャン機能 48

スキャンした素材をカットする（ダイレクトカット） 48
チュートリアル 3
スキャンした素材をカットする 48
ダイレクトカットの応用機能 50
カットデータを作成する 51
チュートリアル 4　カットデータを作成する 51
画像を編集する 53
画像をスキャンする（USB に保存） 55
スキャンする際の注意 55
チュートリアル 5
USB メモリーにスキャンデータを保存する 55

5 付録 57

消耗品 57
交換の目安 57
刃を交換する 57
お手入れ 59
掃除する 59
スキャナーガラスを掃除する 60
画面を調整する 61
困ったとき 62
エラーメッセージ 65
ソフトウェアのアップグレードについて 67
別売品 68
仕様表 68
索引 69

模様（模様モード）

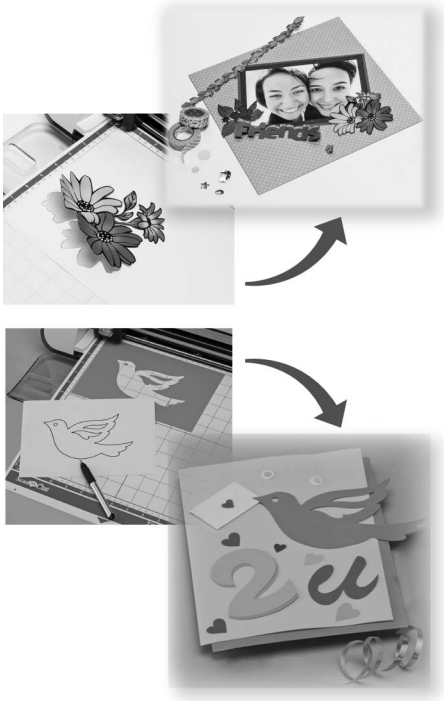
模様を選んで、お好みのレイアウトに編集できます。紙や布をセットするだけで、きれいなパーツが手軽に作れます。



豊富な種類の内蔵模様を使って、簡単にパーツ作りができます。

スキャン（スキャンモード）

画像や写真、自分で描いたイメージ画などをスキャンして、オリジナルカットデザインを作成できます。そのデザインをカットしたり、データとして保存したりすることもできます。



充実した編集機能を使って、取り込んだデザインを簡単に編集できます。編集したデザインはいつでも保存・呼び出しができます。

ホーム画面



模様を選択します。
チュートリアル 1 (→ P.26 参照)
チュートリアル 2 (→ P.28 参照)

スキャンします。
チュートリアル 3 (→ P.48 参照)
チュートリアル 4 (→ P.51 参照)
チュートリアル 5 (→ P.55 参照)

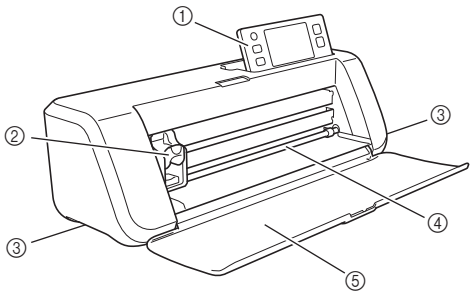




第 1 章　準備・設定

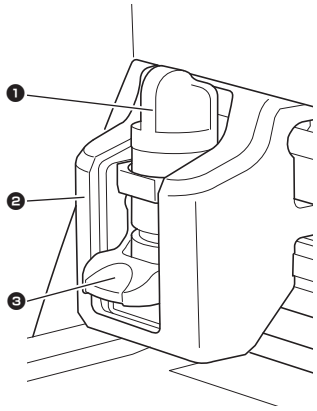
各部の名称とはたらき

正面



① **操作パネル**
液晶タッチパネルと操作ボタンを使って、本製品の操作と設定ができます。操作パネルの角度は 3 段階に調節することができます。詳しくは、P.11 「操作パネルの角度を調節する」を参照してください。

② **キャリッジ**
カットやドローのとき、ホルダーを移動させます。



❶ **ホルダー**
キャリッジにセットして、紙や布をカットまたはドローするときに使用します。用途に合わせて、専用のホルダーを使用してください。

❷ **ホルダーガイド**
ホルダーを固定します。

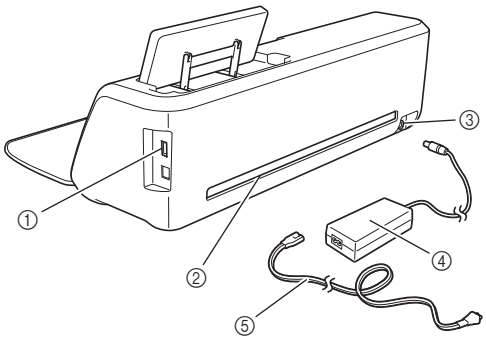
❸ **ホルダー固定レバー**
ホルダーを固定するときにレバーを下げます。
ホルダーを取り外すときにレバーを上げます。

③ **取っ手**
本体を移動させるときは、取っ手に手をかけてください。

④ **マット送り**
マットがここから送られます。マットは、両端に設置されたローラーによって送られます。

⑤ **フロントトレイカバー**
送りローラー、キャリッジ、ホルダーなどを保護します。本製品を使用するときは、カバーを開いてください。

背面



① **USB ポート**
データの保存や呼び出しをするときに、USB メモリーを接続します。

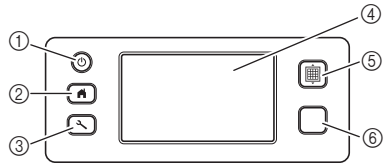
② **スロット**
動作中、マットが出たり入ったりします。排出されるマットの障害にならないよう、スロットのまわりに物を置かないでください。

③ **電源ジャック**

④ **AC アダプター**

⑤ **電源コード**

操作パネル



① **電源ボタン**
電源を入／切します。

② **ホームボタン**
ホーム画面（本製品を操作するためのスタート画面）を表示します。

③ **設定ボタン**
各種設定を行う設定画面を表示します。詳しくは、P.24 「設定画面」を参照してください。

④ **液晶画面**
操作画面や模様のプレビュー、エラーメッセージを表示します。

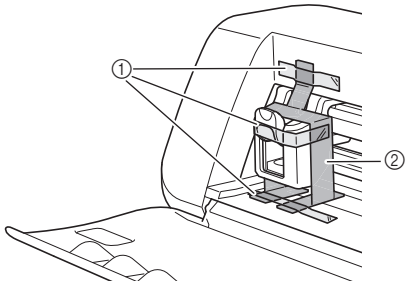
⑤ **送りボタン**
本体にセットされたマットを挿入、または排出します。マットを挿入／排出するときは、必ず送りボタンを押してください。

⑥ **スタート／ストップボタン**
カットやドロー、スキャン操作を開始・停止します。ボタンが緑色に点灯しているときは操作が可能です。

素材を準備してから試し切りまでの操作を説明します。

緩衝材を取り外す

本製品の電源を入れる前に、固定テープと緩衝材を取り外してください。



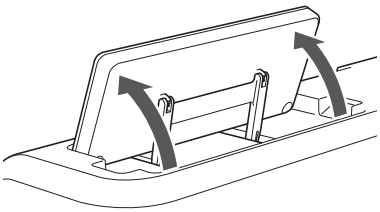
① テープ
② 緩衝材

お願い

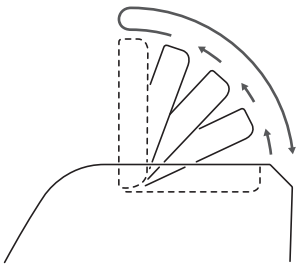
- 緩衝材を取り外す前に電源を入れた場合は、いったん電源を切って、再度入れてください。電源を入れなおさずに本製品を使用すると、正しく動作しないおそれがあります。

操作パネルの角度を調節する

操作パネルの角度は3段階に調節することができます。



操作パネルを収納するときは、パネルをいったん垂直になるまで持ち上げてから、背面に倒して収納してください。
パネルの角度を低くしたいときは、パネルをいったん垂直になるまで持ち上げてから、再度角度を調節してください。

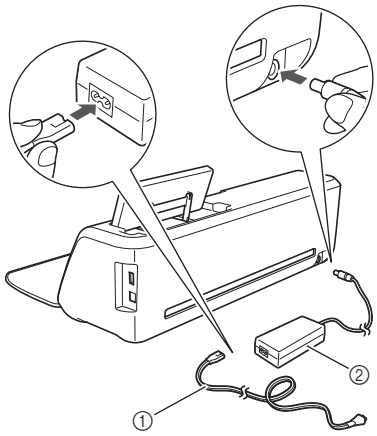


お願い

- 操作パネルを低くしたいときは、必ず上記の手順で低くしてください。無理に操作パネルを倒すと、破損のおそれがあります。

本体の電源を入／切する

❶ AC アダプターに電源コードを接続し、AC アダプターを本体に接続します。



① 電源コード
② AC アダプター

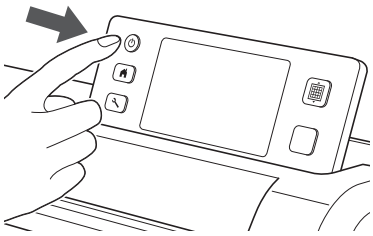
お願い

- AC アダプターを使用するときは、束ねられた電源コードをほどいてください。

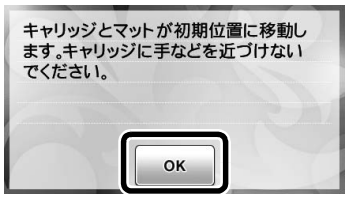
❷ 電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。

❸ 操作パネルの⏻を押します。

オープニング画面が表示されたら、画面上のどこかを押してください。



▶ 以下のメッセージが表示されたら、「OK」を押します。



▶ ホーム画面が表示されます。



お知らせ

- 液晶画面は、液晶の特性上、輝点（常時点灯している点）と黒点（点灯しない点）が存在することがあります。輝点・黒点の発生は、製品の不良または故障ではありません。

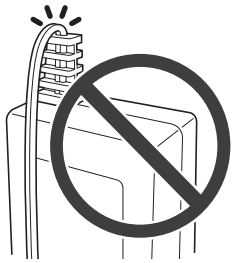
❹ 電源を切る場合は、操作パネルの⏻を押し、電源を切ります。

❺ 電源プラグを家庭用電源コンセントから抜きます。

❻ AC アダプターを本体から取り外し、電源コードを AC アダプターから取り外します。

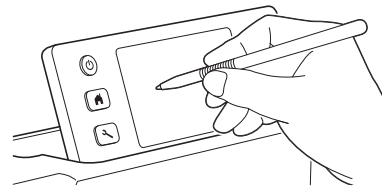
お願い

- AC アダプターのコードを AC アダプターのまわりに巻きつけたり、コードを曲げたりしないでください。コードの破損の原因となります。



液晶画面の操作

操作画面はタッチパネルです。操作する際は、付属のタッチペンを使用してください。



お願い

- シャープペンシルやドライバーなど、先のとがったものや硬いもので画面を押さないでください。故障の原因となります。

紙／布を準備する

カットやドロー、スキャン（ダイレクトカット）の素材は、以下の条件に従って準備してください。

条件	紙	布
大きさ	(12" × 12" (305 mm × 305 mm) のマットを使用したとき) 最大 305 mm × 305 mm カット／ドローの最大動作範囲は、296 mm × 298 mm	
厚さ *	0.1 mm ～ 0.3 mm	0.2 mm ～ 1.5 mm
種類	スクラップブッキング用紙、カードストック、ベラム	コットン生地、フェルト

* 使用する素材によって、推奨する厚みは異なります。

お願い

- ラメや金属箔など、表面から剥離しやすい装飾が施された素材は、使用を避けてください。動作中に剥離した装飾がスキャナーやローラーに付着して、故障の原因となります。また、刃が破損する原因となります。
  そのような素材を使用した場合は、使用後に本体底面にあるスキャナーガラスを掃除してください。(→ P.60 参照)

お知らせ

- 別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットを使用して、カット／ドローする場合の最大動作範囲は、296 mm × 603 mm です。
- 表面がでこぼこしているような布をカットする場合は、裏面を上にして布をマットに貼るとカットしやすくなります。

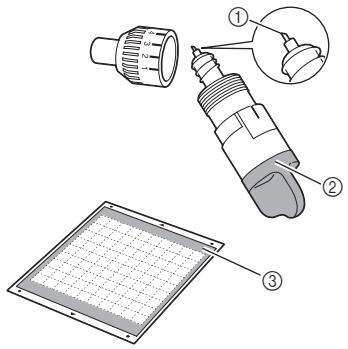
マットと刃の組み合わせ

カット／ドローに使用する素材ごとのアクセサリーの組み合わせについては、以下の表を参照してください。
素材のカットに必要なアクセサリーが製品に付属していない場合は、別売品を購入してください。

	刃（ホルダー）	マット	シート	推奨する組み合わせ
薄い紙（上質紙）	刃（青緑色）	弱粘着カッティングマット（青緑色）	–	①（→ P.13 参照）
普通の厚みの紙（ケント紙）		カッティングマット（青緑・紫色）	–	②（→ P.14 参照）
薄い布（キルトピース用）			布用粘着サポートシート	③（→ P.14 参照）
薄い布（キルトピース以外の用途）			アイロン接着シート（白色剥離紙）	④（→ P.16 参照）
厚い布（キルトピース以外の用途）	* 厚物用刃（紫色）			⑤（→ P.18 参照）

* 厚物用刃は、フェルトやデニムなど厚手の布（0.5 mm ～ 1.5 mm）に使用してください。

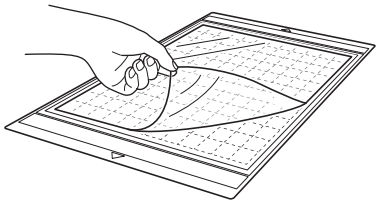
■ ① 薄い紙（上質紙）



① 刃
② ホルダー（青緑色）
③ 弱粘着カッティングマット（青緑色）

素材をマットに貼る（薄い紙の場合）

❶ マットの接着面から保護シートをはがします。



お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れをした後に保護シートを貼って保管してください。接着面のお手入れについては、P.59「マットの掃除」を参照してください。

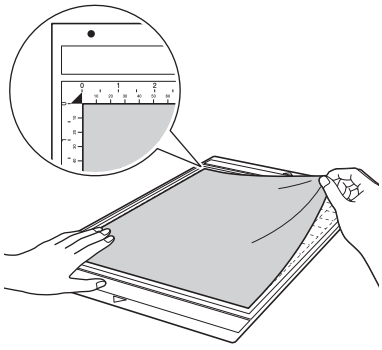
❷ 素材を試し貼りします。

素材をマットに貼る前に、マットの接着面の端を使って試し貼りをしてください。
試し貼りでは、以下の点をご確認ください：

- はがしたときに、素材の色落ちがないか
- はがしたときに、素材が破れていないか、変形していないか

試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。

❸ マットの接着面に素材を貼ります。



お願い

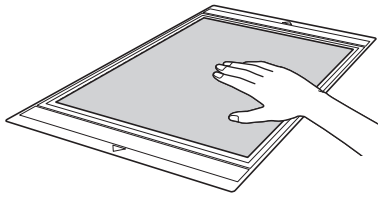
- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方眼罫の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

お知らせ

- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。

❹ 素材にしわが寄ったり、端がめくれたりしないように、しっかりとマットに貼りつけます。

- 素材のしわやめくれは、マットを挿入したときに引っかかる原因となります。

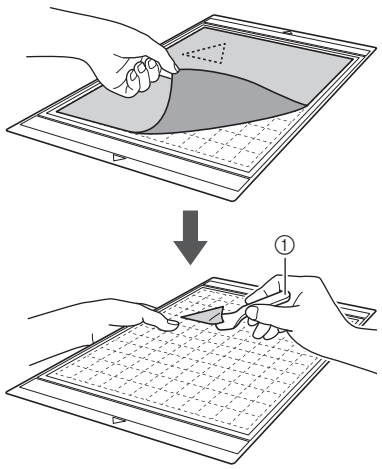


お願い

- マットが汚れているときは、P.59「マットの掃除」を参照して、お手入れをしてください。

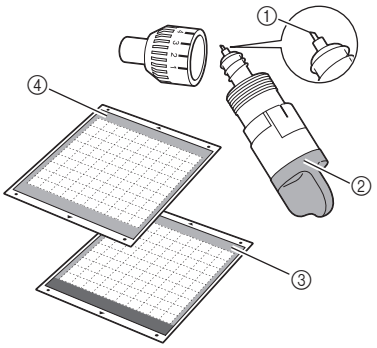
素材をマットからはがす（薄い紙の場合）

刃の出し量の調整（→ P.19 参照）、ホルダーの取り付け（→ P.20 参照）、試し切り（→ P.20 参照）を行い、カットの準備をします。素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくりと素材をはがしてください。



① スパチュラ

■ ② 普通の厚みの紙



① 刃
② ホルダー（青緑色）
③ カッティングマット（青緑・紫色）
④ 弱粘着カッティングマット（青緑色）
（表面が滑らかな紙をカットするとき）

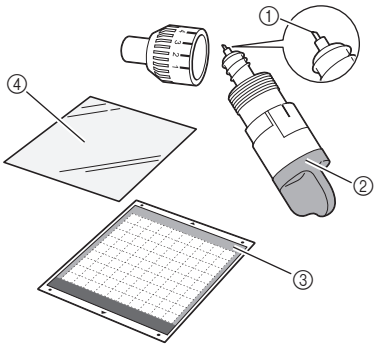
素材をマットに貼る（普通の厚みの紙の場合）

P.13「素材をマットに貼る（薄い紙の場合）」の手順を参照してください。

素材をマットからはがす（普通の厚みの紙の場合）

P.14「素材をマットからはがす（薄い紙の場合）」の手順を参照してください。

■ ③ 薄い布（キルトピース用）

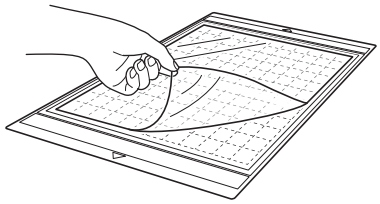


① 刃
② ホルダー（青緑色）
③ カッティングマット（青緑・紫色）
④ 布用粘着サポートシート

素材をマットに貼る（キルトピース用の薄い布の場合）

カッティングマットにキルトピース用の薄い布を貼りつける際は、布用粘着サポートシートを使用してください。ぬいしろが付加されていない模様には使用できません。ぬいしろが付加されていない模様をカットする際は、アイロン接着シートを使用してください。（→ P.16 参照）
布用粘着サポートシートは、粘着力が弱くなるまで、繰り返し使用できます（一度マットからはがしたシートは使用できません）。

❶ マットの接着面から保護シートをはがします。

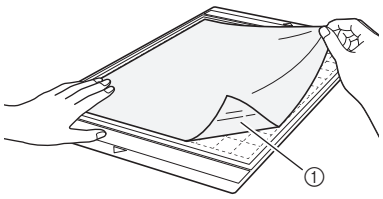


お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。

❷ 布用粘着サポートシートの光沢のある面を下に向けて、マットの接着面に貼ります。

マットとシートの間に空気が入らないように、端からゆっくりと貼り付けてください。

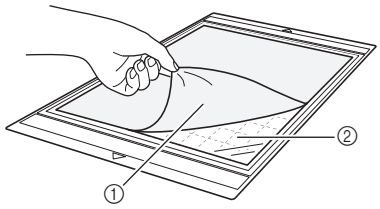


① 布用粘着サポートシートの光沢のある面

お願い

- 布用粘着サポートシートは、マットの接着面の貼り付けエリア（方眼罫の範囲）内に配置してください。シートが貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

❸ 布用粘着サポートシートの剥離紙をはがします。



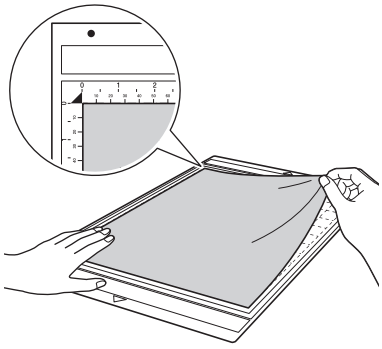
① 剥離紙
② 接着面

❹ 素材を試し貼りします。

素材をマットに貼る前に、接着面の端を使って試し貼りをしてください。試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。

❺ 素材にしわが寄らないように、端から、マットの接着面に貼りつけます。

最初に布にアイロンをかけてしわを伸ばしておいてください。



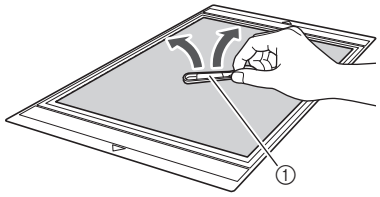
お願い

- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方眼罫の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

お知らせ

- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。
- 布をマットに貼るときは、布目方向が縦になるように貼ってください。内蔵模様は布目が縦方向になるように自動配置されます。
- ぬいしろをドローするときは、布の裏面を上にして貼りつけてください。

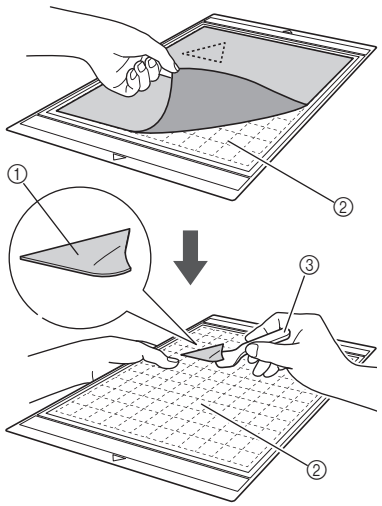
❻ 付属のスパチュラを布の表面に強く滑らせて、しわを伸ばしながら、布をマットにしっかりと貼りつけます。



① スパチュラ

素材をマットからはがす（キルトピース用の薄い布の場合）

刃の出し量の調整（→ P.19 参照）、ホルダーの取り付け（→ P.20 参照）、試し切り（→ P.20 参照）を行い、カットの準備をします。素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくりと素材をはがしてください。その際、布用粘着サポートシートを一緒にはがさないように注意してください。



① カットした模様
② 布用粘着サポートシートはマットに残ります。
③ スパチュラ

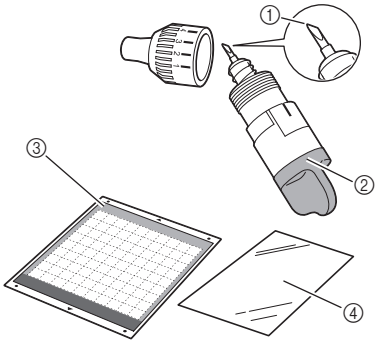
お願い

- 下記のような条件で布をはがすと、布用粘着サポートシートがはがれることがあります。
  - 連続して使用したため、マットと布用粘着サポートシートの粘着力が弱くなっているとき
  - 布用粘着サポートシートが強く貼りつく布を使用したとき
- 上記の場合、スパチュラで布用粘着サポートシートをおさえて、カットした布を手ではがしてください。
- カット後は、布用粘着サポートシートに残った繊維を取り除いてください。
- アイロン接着シートを接着した布や紙をマットに貼るときは、マットから布用粘着サポートシートをきれいにはがすか、サポートシートを貼っていない、別のマットに素材を貼ってください。
- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに、素材を長期間貼りつけたままにしないでください。素材に粘着剤が浸み込みます。

布用粘着サポートシートの使用上の注意

- サポートシートの粘着力が弱くなったり、カット中に布がよじれたりする場合、新しいサポートシートに交換してください。
- マットからサポートシートをはがしたり、サポートシートを交換するときは、スパチュラを使用して丁寧に古いサポートシートをはがしてください。
- マットを使用しないときは、サポートシートに保護シートを貼って保管してください。
- サポートシートを貼りつけたマットを、一定期間使用しなくなる場合、サポートシートをはがしてから接着面に保護シートを貼った状態でマットを保管してください。
- 一度マットに貼りつけたサポートシートは、はがして再利用することはできません。
- サポートシートは室温で保管し、高温・多湿・直射日光を避けてください。
- サポートシートを保管する際は、折り曲げないでください。

■ ④ キルトピース以外の用途に使用する薄い布



① 刃
② ホルダー（青緑色）
③ カッティングマット（青緑・紫色）
④ アイロン接着シート（白色剥離紙）

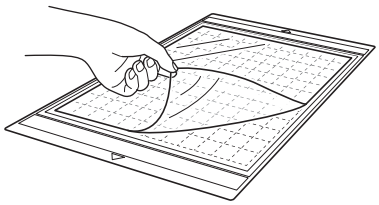
素材をマットに貼る（キルトピース以外の用途に使用する薄い布の場合）

キルトピース以外の用途に使用する布の裏に、アイロン接着シートをアイロンで貼りつけた後、マットに貼りつけます。
アイロン接着シートは両面が接着面になっているため、アップリケ用の模様のカットに適しています。
いったん接着シートを布の裏に貼りつけると、はがせません。キルトピース用の布には、アイロン接着シートは使用せずに、布用粘着サポートシートを使用してください。（→ P.14 参照）

お知らせ

- 接着シートはアイロンのかけられない素材や凹凸のある布などには使用できません。

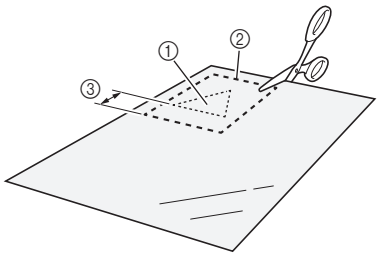
❶ マットの接着面から保護シートをはがします。



お願い

- 保護シートは、マットからはがした後も捨てずに保管してください。
- マットを使用しないときは、接着面のお手入れをした後に保護シートを貼って保管してください。詳しくは、P.59 「マットの掃除」を参照してください。

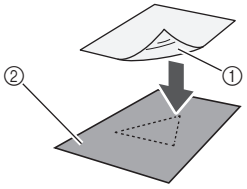
❷ 接着シートを、カットする模様よりも約 2cm 以上大きいサイズに切ります。



① カットする模様
② 接着シートの切り取り位置
③ 約 2cm 以上の余白

❸ 接着シートの光沢のある面を下に向けて、布の裏面に置きます。

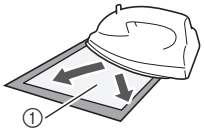
最初に布にアイロンをかけてしわを伸ばしておいてください。布の熱を冷ましてから、接着シートを置いてください。



① 接着シートの光沢のある面
② 布の裏面

❹ 接着シートの上から、均等にアイロンをかけて、布の裏面に貼りつけます。

140 ～ 160 ℃に設定したアイロンで、接着シートの上から均等に約 20 秒ずつ押し当てます。押し当てる時間は、布の種類によって異なります。
接着シートと布の間の空気を押し出すようにアイロンをかけてください。



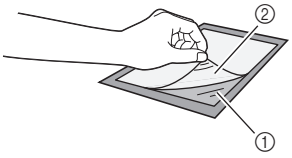
① アイロン接着シート

お願い

- 接着シートを布に貼りつける前に、作品と同じ素材の布で試し貼りしてください。試し貼りで不具合が生じた場合は、素材を変更してください。
- アイロンを同じ場所に押し当て続けないでください。素材が焦げたり溶けたりすることがあります。

❺ 接着シートから剥離紙をはがします。

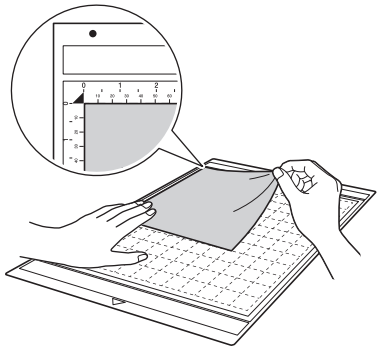
剥離紙をはがす前に、布や接着シートの熱が冷めていることを確認してください。



① 接着シート
② 剥離紙

❻ 接着シートを貼った面を下にして、布をマットに端から貼り付けます。

マットと素材の間に空気が入らないように、端からゆっくりと貼り付けてください。



お願い

- 素材はマットの接着面の貼り付けエリア（方眼罫の範囲）内に配置してください。素材が貼り付けエリアからはみ出すと、マットを送るローラーに引っかかり、破損するおそれがあります。

お知らせ

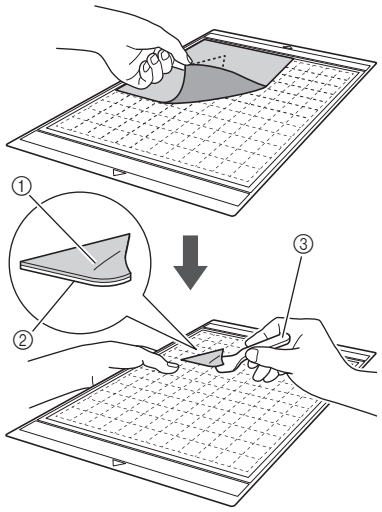
- マットに上下の違いはないので、どちらからでも本体に挿入できます。
- 貼りつけた布の布目が、上下まっすぐになるように配置してください。内蔵の模様は布目に合わせて、自動レイアウトされます。

❼ 素材にしわが寄ったり、端がめくれたりしないように、しっかりとマットに貼りつけます。

- 素材のしわやめくれは、マットを挿入したときに引っかかる原因となります。

素材をマットからはがす（キルトピース以外の用途に使用する薄い布の場合）

刃の出し量の調整（→ P.19 参照）、ホルダーの取り付け（→ P.20 参照）、試し切り（→ P.20 参照）を行い、カットの準備をします。素材をカットした後は、付属のスパチュラを使ってゆっくりと素材をはがしてください。



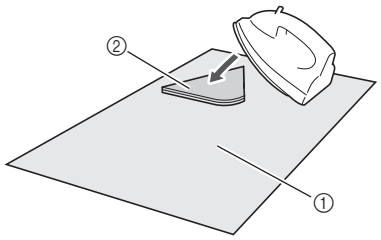
① カットした模様
② 接着シート
③ スパチュラ

お願い

- 接着シートを貼った布の上に、熱をもったものを置かないでください。周囲のものに粘着剤が移ります。

両面接着して、土台布にカットした模様を貼りつける

土台布の上にカットした模様を置いて、アイロンを押し当てます（布によっては接着が弱いことがあります）。
アイロンで接着した後に、手ぬいまたはミシンぬいをすると、カットした模様がしっかりと固定されます。



① 土台布
② 接着シートを貼ったカット模様

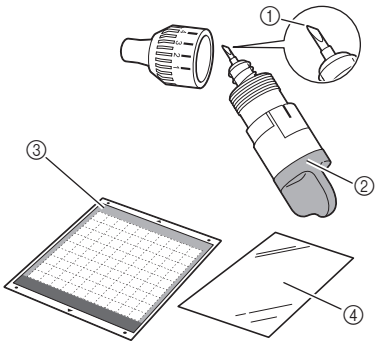
お願い

- 両面接着した布は、洗濯しないでください。
- 両面接着するときは、溶着の様子を確認しながら、丁寧にアイロンをかけてください。
- 厚みの異なる布を両面接着するときは、薄手の布側からアイロンをかけてください。より接着しやすくなります。

接着シートの使用上の注意

- 接着シートは室温で保管し、高温・多湿・直射日光を避けてください。

■ ⑤ キルトピース以外の用途で使用する厚い布



① 厚物用刃
② 厚物用ホルダー（紫色）
③ カッティングマット（青緑・紫色）
④ アイロン接着シート（白色剥離紙）

素材をマットに貼る（キルトピース以外の用途で使用する厚い布）

P.16 「素材をマットに貼る（キルトピース以外の用途に使用する薄い布の場合）」の手順を参照してください。

素材をマットからはがす（キルトピース以外の用途で使用する厚い布）

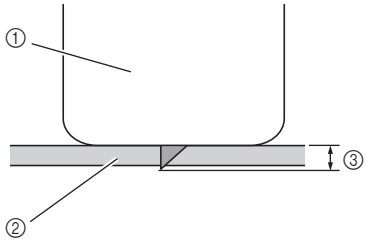
P.18 「素材をマットからはがす（キルトピース以外の用途に使用する薄い布の場合）」の手順を参照してください。

刃の出し量を調整する

素材の種類や厚みによって、最適な刃の出し量は異なります。ホルダーをキャリッジにセットする前に、刃量調整ヘッドを回して刃の出し量を調整したのち、試し切りをしてください。試し切りについては、P.20 「試し切りをする」を参照してください。

■ 適切な刃の出し量

カット素材の厚みを少し超えて刃先が出る程度が適正です。ホルダーの目盛を目安にして、調整してください。



① ホルダーキャップ（刃量調整ヘッド）の先端
② カットする素材
③ 刃先の長さ

お願い

- 刃は出しすぎないように注意してください。刃を出しすぎると、素材がきれいにカットできません。また、マットの劣化を早める原因となります。

カット設定

下の表を参考に、カットする素材ごとの適正な設定を選んでください。

素材の種類	刃（ホルダー）	目盛	カット圧力
薄い紙（ベラム）	刃（青緑色）	3	0
厚手の紙（カードストック）	刃（青緑色）	4	0
薄い布（コットン生地）	刃（青緑色）	4	4
厚手の布（1 ミリ厚のフェルト）	厚物用刃（紫色）	5	5

* カット圧力は設定画面で調節してください。（→ P.24 参照）

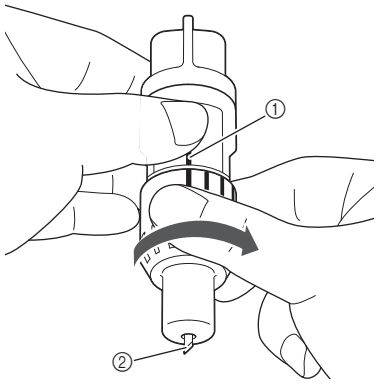
* 布をカットするときは、布用粘着サポートシートまたはアイロン接着シートを使用してください。詳しくは、P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。

お願い

- 上記の表で示された数値は目安です。カットする素材の種類や厚みによって設定の適正は異なります。必ずはじめに試し切りをしてください。

■ 刃の出し量の調整

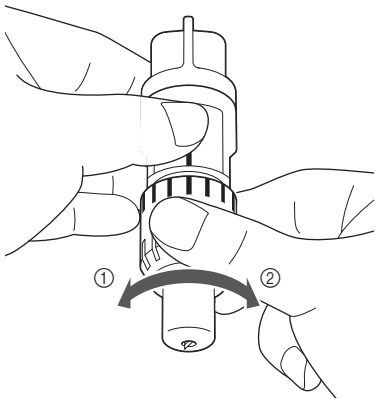
❶ ホルダーの印が正面になるように持ち、キャップを右側にいっぱいまで回して、刃を最大量まで出します。



① 印
② 刃を最大量まで出します。

❷ 素材の厚みを確認し、刃の出し量を調整します。P.19 「適切な刃の出し量」を参照ください。

刃量調整ヘッドの数値が大きいほど、刃は長くなっています。



① 刃を短くしたいとき、左へ回します。
② 刃を長くしたいとき、右へ回します。

ホルダーの取り付け／取り外し

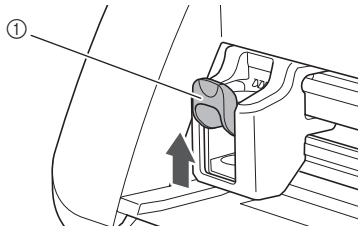
本体にホルダーを取り付けます。

❶ 操作パネルの⏻を押して本体の電源を入れます。

詳しくは、P.11 「本体の電源を入／切する」を参照してください

❷ ホルダー固定レバーが上がっていない場合は、レバーを上げます。

レバーが下がっていると、ホルダーを取り付けることができません。

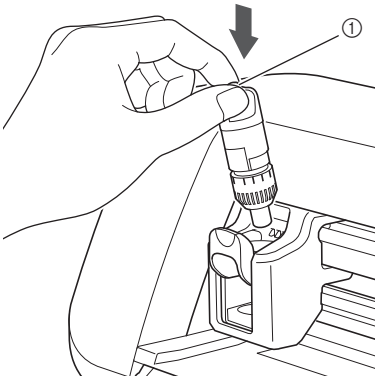


① ホルダー固定レバー

⚠ 注意

- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

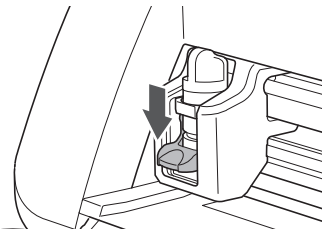
❸ つまみ部分をつかんで、ホルダーをキャリッジに差し込みます。



① つまみ

❹ ホルダー固定レバーを押し下げます。

ホルダーが固定されるまで、しっかりと押し下げます。



❺ ホルダーを取り外す場合は、取り付けと逆の手順を行います。

⚠ 注意

- 製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

試し切りをする

素材に合わせて刃の出し量を調整したら、作品に使用する素材を使って、試し切りをします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの⏻を押して本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.11 「本体の電源を入／切する」を参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

- 詳しくは、P.20 「ホルダーの取り付け／取り外し」を参照してください。

■ 試し切り用の模様を選択する

紙を使って試し切り用の模様をカットします。

お知らせ

- 設定画面で、表示言語を選択できます。(P.24「言語」参照)。

❶ ホーム画面で「模様」を選択します。

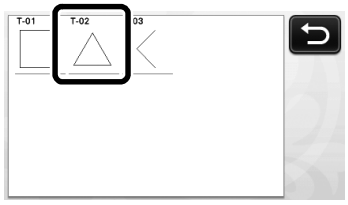


❷ 模様カテゴリー選択画面で、「試し切り」キーを押します。

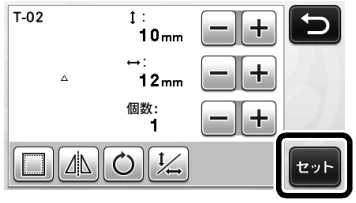


❸ 模様選択画面で模様を選択します。

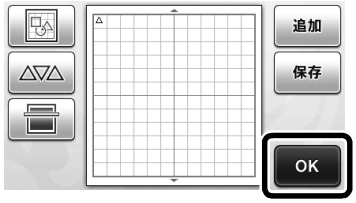
- 紙をカットするときは「T-02」、布をカットするときは「T-03」を選択することをお勧めします。



❹「セット」キーを押します。



❺ 模様の配置を確認して、「OK」キーを押します。



- 模様の配置変更について詳しくは、P.36 「模様レイアウト画面」を参照してください。
- 模様を選択しなおしたいときは、[ホーム]を押して選択を解除してから、もう一度模様を選んでください。

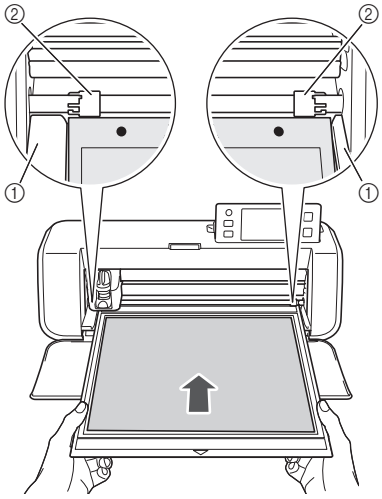
■ マットを挿入する

❶ カットする素材をマットに貼りつけます。

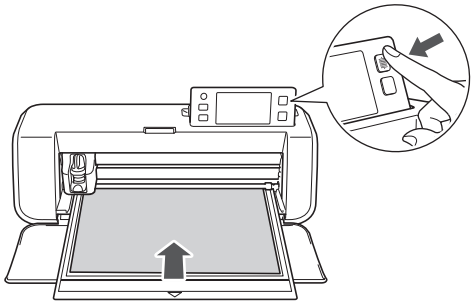
- マットに貼りつける素材の詳細は、P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。

❷ マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込み、操作パネルの[マット]を押します。

マット送りの左右にあるガイドに合わせて軽くマットを差し込み、マットを送るローラーの下に挟み込みます。



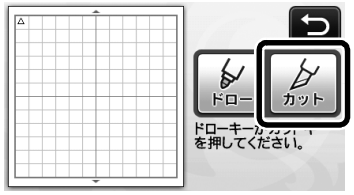
① ガイド
② ローラー



▶ マットが所定の位置まで送り込まれると、カットの準備は完了します。

■ カットする

❶ ドロー／カット選択画面で「カット」を選択します。



▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

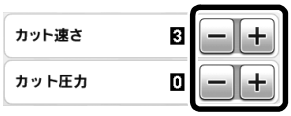
お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

❷ カット速さとカット圧力を調節します。

実際に模様をカットする前に、設定画面でカット速さとカット圧力を調節してください。操作パネルで [設定] を押し、[▼] を押して設定画面の 2 ページ目を表示させてください。

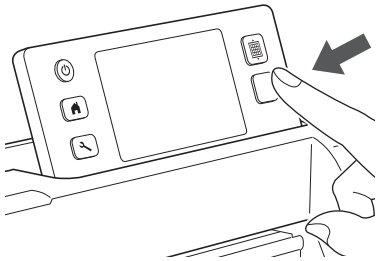
▶ [＋] または [－] を押して設定を調節し、「OK」キーを押してください。



お願い

- 使用する素材によっては、カット圧力が正しく調節されていない場合、きれいにカットできない場合があります。適切なカット圧力については、P.19 「カット設定」を参照してください。

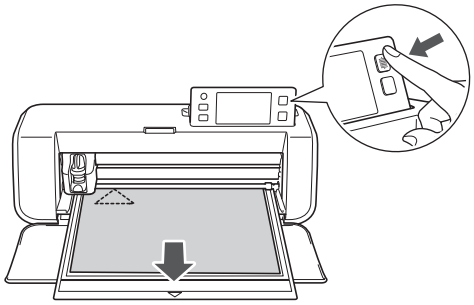
❸ スタート／ストップボタンを押して、カットを開始します。



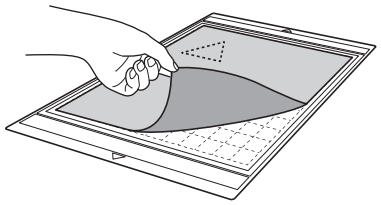
▶ カットが完了すると「カットが終了しました。」とメッセージが表示されます。「OK」キーを押すと、ドロー／カット選択画面に戻ります。

■ マットを排出する

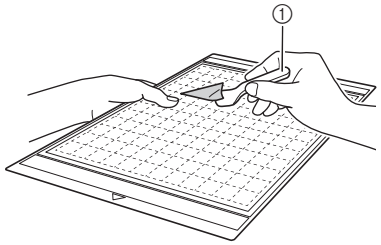
❶ 操作パネルの [マット排出] を押して、マットを排出します。



❷ 四隅など、はがしやすい場所から素材をはがし始め、同じ強さを保ちながらゆっくりとはがし続けます。



❸ 片手でマットを固定しながら、付属のスパチュラを使用してカット模様を丁寧にはがします。



① スパチュラ

お願い

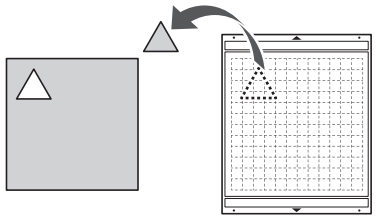
- 素材のはがし方については、P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。

■ 試し切りの結果を確認する

試し切りの結果を確認して、刃の出し量を調整します。
素材がきれいにカットできるまで、試し切りを繰り返して刃の出し量を調整してください。

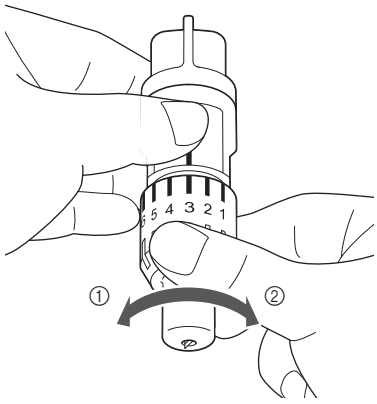
適切な刃の出し量

素材をはがした後に、マットの表面にカットした跡が薄く残ります。



刃の出し量の調整が必要な場合

試し切りの結果	調整方法
素材をはがした後でカットした素材の一部分が残る。	刃の出し量が少なすぎる：刃量調整ヘッドを半目盛右へ回してください。(②)
素材がカットされていない。	刃の出し量が少なすぎる：刃量調整ヘッドを1目盛右へまわしてください。(②)
マットの裏面までカット線が入っている。	刃の出し量が多すぎる：刃量調整ヘッドを1目盛左へまわしてください。(①)



お願い

- 刃を出しすぎないように注意してください。刃を出しすぎると、素材がきれいにカットできません。また、マットの劣化を早める原因となります。

設定画面

各種機能の設定を、液晶画面上で選択・調整することができます。操作パネルの[🔧]を押し、設定画面を表示させてください。

■ 1 ページ



① 設定画面ページ数
② 前ページ／次ページを表示
③ 設定が完了したときに押します。

言語

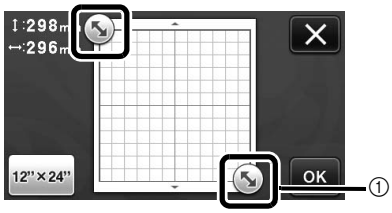
表示言語を選択します。[🔧]を押して、表示したい言語を選択し、「OK」キーを押します。

単位

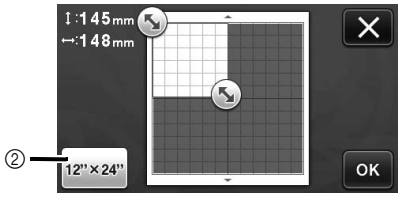
寸法単位の表示をミリかインチから選択します。

カット範囲

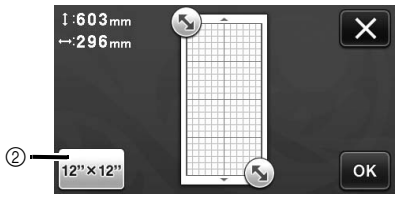
使用する素材の大きさに合わせて、カット・ドロー範囲を設定します。[🔧]を押し、範囲変更キーをドラッグして設定します。12" × 24" (305 mm × 610 mm) のマットを使うときは、マットサイズキーを押して大きめのマットサイズを選択し、カット範囲を設定します。



① 範囲変更キー（タッチペンを使ってキーを押してからドラッグして、範囲を設定してください。）



② マットサイズキー（キーを押すたびにマットサイズ設定が、12" × 12" (305 mm × 305 mm) と 12" × 24" (305 mm × 610 mm) で切り替わります。）

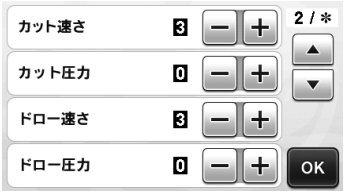


- 「OK」キーを押すと、設定が適用されます。設定が適用される前に[✕]を押すと元の画面に戻ります。

背景濃淡

背景スキャン機能でスキャンした背景画像の濃淡を調整します。詳しくは、P.39 「背景画像をスキャンする」を参照してください。

■ 2 ページ



カット速さ

カットの速さを調節します。

カット圧力

カット圧力を調節します。適正なカット圧力の調整については、P.19 「カット設定」を参考にしてください。

ドロー速さ

ドローの速さを調節します。

ドロー圧力

ドローの圧力を調節します。ドロー圧力を適切に調節すると仕上がりがきれいになります。最初に、作品に使用する素材を使用して試し書きをしてください。圧力が強すぎると、ペン先が変形するおそれがあります。

■ 3 ページ



オートシャットダウン

オートシャットダウンまでの時間を設定します。1 時間間隔で設定することができます。詳しくは、P.25 「オートシャットダウン」を参照してください。

ブザー音

キーを押したときなどの操作音の有無を設定します。

ぬいしろ幅

ぬいしろ幅を設定します。キルトピースを作るときなど、ぬいしろをつけてカットするとき（布に模様をドローして周囲をカットするとき）に、この設定は適用されます。詳しくは、P.45 「ドロー線の周囲をカットする」を参照してください。

お知らせ

- 同時に複数の模様を配置した場合、設定した値は全ての模様に適用されます。
- ぬいしろが付加された模様が含まれるデータを呼び出したとき、データを保存したときのぬいしろ幅の設定と現在設定されているぬいしろ幅の設定が異なる場合は、現在設定されている値が優先されます。

模様間隔

模様レイアウト画面で、模様のレイアウトを自動調整する場合、模様と模様の間隔や、マット上のカット範囲の内側に残す余白を設定します。数値が大きくなると、間隔は広くなります。自動レイアウト機能については、P.39 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。

お願い

- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに布を貼り付けて模様をカットするときは、「3」以上に設定してください。

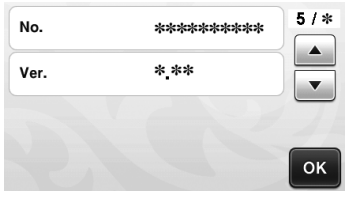
■ 4 ページ



オープニング画面

起動時のオープニング画面の表示を設定します。オープニング画面を表示する設定にすると、起動後にスライドショーが始まり、画面を押すとホーム画面が表示されます。

■ 5 ページ



No.

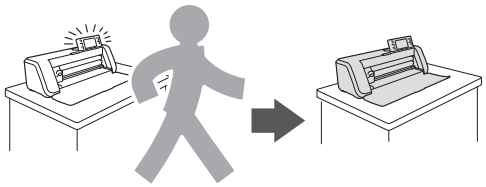
本体のシリアルナンバーを表示します。

Ver.

本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

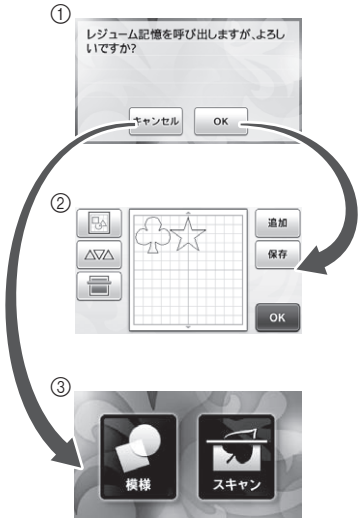
オートシャットダウン

本体が一定時間使用されなかった場合、自動で電源が切れます。自動で電源が切れるまでの時間は、設定画面で設定することができます。





模様レイアウト画面で操作中にオートシャットダウンした場合、もう一度電源を入れると、操作の続きからスタートできます。電源を入れた後に画面に表示される手順に従って「OK」キーを押して、模様レイアウト画面に戻るか、「キャンセル」キーを押してホーム画面に戻ってください。



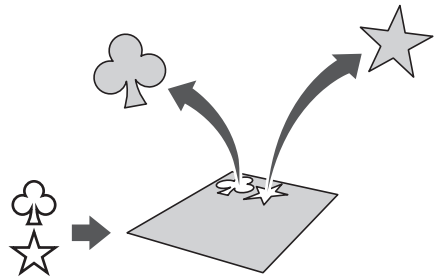
① メッセージ画面
② 模様レイアウト画面
③ ホーム画面

模様レイアウト画面が表示される前にオートシャットダウンした場合、もう一度電源を入れるとホーム画面が表示されます。

模様をカットする

ここでは、内蔵模様を選択してから編集してカットを開始するまでの操作を説明します。

チュートリアル 1　模様をカットする



このチュートリアルでは、 2 種類の内蔵模様をカットします。

■ 本体の電源を入れる

操作パネルの⏻を押して本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.11 「本体の電源を入／切する」を参照してください。

■ ホルダーを取り付ける

本体のキャリッジにホルダーを取り付けます。

- 詳しくは、P.20 「ホルダーの取り付け／取り外し」を参照してください。

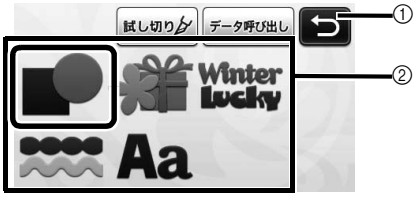
■ 1 つめの模様を選択／編集する

❶ ホーム画面で「模様」を選択します。



❷ 模様カテゴリー選択画面でカットしたい模様のカテゴリーを選択します。

ここでは、  を選択します。

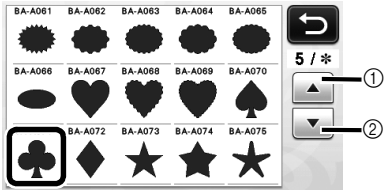


① 押すと前の画面に戻ります。
② 模様カテゴリー

お知らせ

- お買い上げのモデルによって、画面に表示される模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内蔵模様について詳しくは、同梱の模様一覧を参照してください。

❸ 模様選択画面で 1 つめの模様を選択します。

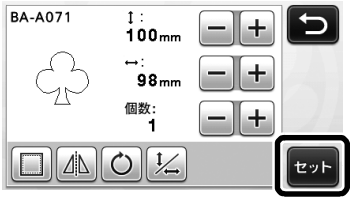


① 上にスクロールします。
② 下にスクロールします。

❹ 模様編集画面で模様を編集します。

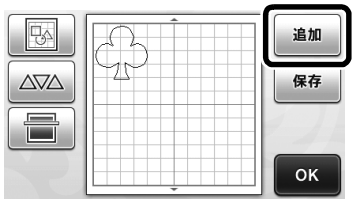
編集が完了したら、「セット」キーを押します。

- 編集機能について詳しくは、P.34 「模様を編集する」を参照してください。.



■ 2 つめの模様を選択／編集する

❶ 模様レイアウト画面で「追加」キーを押します。



▶ 模様カテゴリー選択画面が表示されます。

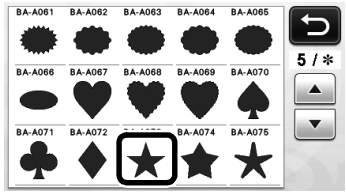
- 模様を選択しなおしたいときは、[ホーム]を押して選択を解除してから、もう一度模様を選んでください。

❷ カットしたい模様のカテゴリーを選択します。



① 押すと前の画面に戻ります。

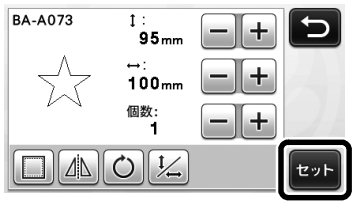
❸ 2 つめの模様を選択します。



❹ 模様を編集します。

編集が完了したら、「セット」を押します。

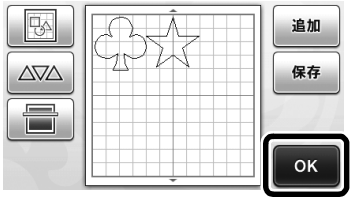
- 編集機能について詳しくは、P.34 「模様を編集する」を参照してください。



❺ 模様の配置を確認します。

カットする 2 つの模様が模様レイアウト画面に表示されます。配置を確認して、「OK」キーを押します。

- この画面上で、それぞれの模様を編集したり移動、削除することもできます。模様レイアウト画面の詳細は、P.36 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。
- 自動レイアウト機能をつかって、模様の配置を簡単に調整できます。詳しくは、P.39 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。



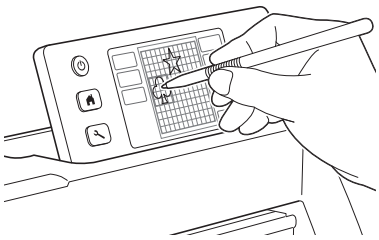
▶ ドロー／カット選択画面が表示されます。

お願い

- 模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできないことがあります。その場合は、模様の間隔を少し広げてください。

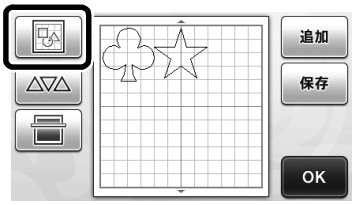
お知らせ

- カット／ドロー範囲内であれば、画面上で模様をドラッグして移動することができます。

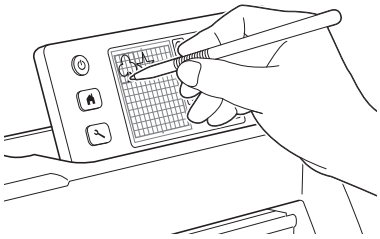


- レイアウトした模様を削除したいときは、レイアウト編集画面で模様を選択してから、以下の手順で削除してください。

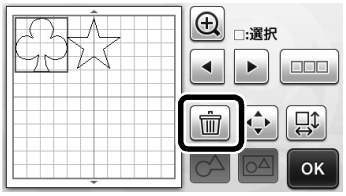
▶ 模様レイアウト画面で [ ] を押します。



▶ 削除したい模様を選択します。複数の模様を一度に削除したい場合、複数選択機能を使用してください。詳しくは、P.32 「複数の模様を選択する」を参照してください。



▶ 模様レイアウト画面で を押して選択した模様を削除します。



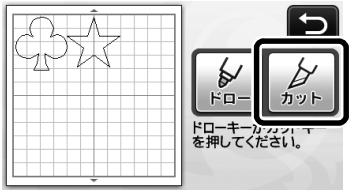
■ マットを挿入する

マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込み、操作パネルの を押します。

- 詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

■ カットする

❶ ドロー／カット選択画面で「カット」を選択します。



▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

- カットの前に刃の出し量を適正な長さに調整してください。詳しくは、P.19 「刃の出し量を調整する」を参照してください。

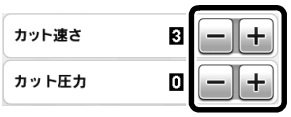
お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

❷ カット速さとカット圧力を調節します。

カットの前に、カット速さとカット圧力を調節します。設定変更は、設定画面から調節することができます。操作パネルの を押してください。

▶ または を押して設定を変更します。



お願い

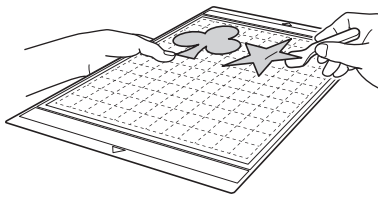
- 使用する素材によっては、カット圧力が正しく調節されていない場合、きれいにカットできない場合があります。適切なカット圧力については、P.19 「カット設定」を参照してください。

❸ スタート／ストップボタンを押して、カットを開始します。

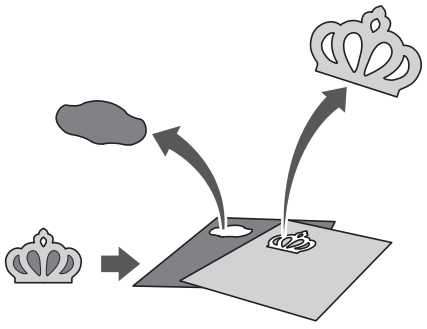
▶ カットが完了すると、ドロー／カット選択画面が表示されます。

■ マットを排出する

マットを排出し、付属のスパチュラを使って模様をはがしてください。詳しくは、P.22 「マットを排出する」を参照してください。



チュートリアル２　多色の模様をカットする



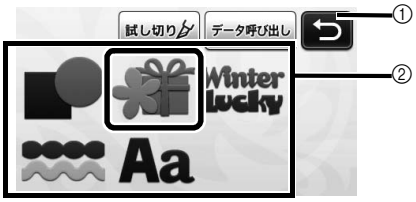
このチュートリアルでは、 カテゴリーの内蔵模様をカットします。

■ 1つめの模様パーツを選択／編集する

❶ ホーム画面で「模様」を選択します。



❷ 模様カテゴリー選択画面で模様のカテゴリーを選択します。

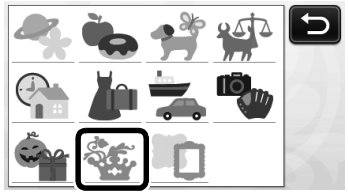


① 押すと前の画面に戻ります。
② 模様カテゴリー

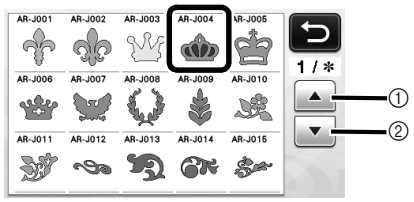
お知らせ

- お買い上げのモデルによって、画面に表示される模様カテゴリーと内蔵模様は異なります。内蔵模様について詳しくは、同梱の模様一覧を参照してください。

❸ 模様サブカテゴリー選択画面で模様のサブカテゴリーを選択します。



❹ 模様選択画面でカットする模様を選択します。

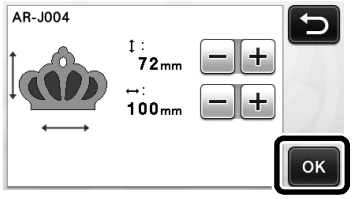


① 上にスクロールします。
② 下にスクロールします。

❺ 模様サイズ画面で模様全体の大きさを調整します。

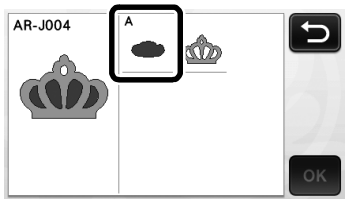
サイズ調整が終わったら、「OK」キーを押します。

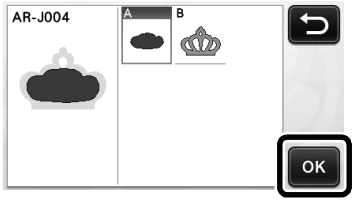
- 模様サイズ画面について詳しくは、P.35 「サイズ変更」を参照してください。



❻ 模様パーツリスト画面で、最初に編集する模様パーツを選択して、「OK」キーを押します。

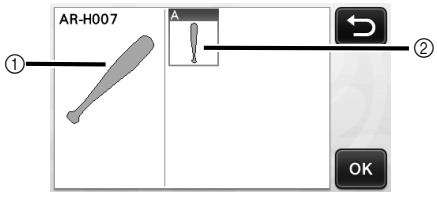
模様パーツリスト画面では、個々に編集したい模様パーツを選択できます。





お知らせ

- 模様パーツは、布をカット素材として使用したときに、布目が縦方向になるように配置されます。表示されている模様の角度（①）と配置される模様の角度（②）は異なることがあります。



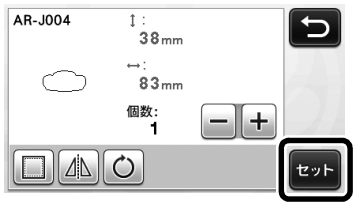
① 模様パーツリスト画面での表示
② カットされる模様パーツの実際の配置

- 模様パーツの角度は、回転機能を使用してお好みで変更してください。詳しくは、P.35 「模様パーツを編集する」を参照してください。

❼ 模様パーツ編集画面で、模様パーツを編集します。

編集が完了したら、「セット」キーを押します。

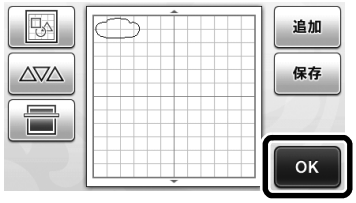
- 編集機能について詳しくは、P.35 「模様パーツを編集する」を参照してください。



❽ 模様レイアウト画面で模様パーツの配置を確認します。

画面にカットされる模様パーツが表示されます。配置を確認し、「OK」キーを押します。

- 画面上で模様パーツをそれぞれ編集、移動、削除、保存することができます。模様レイアウト画面での編集機能について詳しくは、P.36 「模様レイアウト画面」を参照してください。



▶ ドロー／カット選択画面が表示されます。

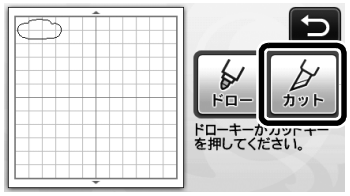
■ マットを挿入する

1 つめの模様パーツをカットする素材をマットに貼りつけて、マット送りに差し込みます。
色の異なる複数の模様パーツで構成される模様をカットする場合は、模様パーツをカットするたびに素材を貼り変えてください。

- 素材の準備とマットの差し込み方について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

■ 1 つめの模様パーツをカットする

❶ ドロー／カット選択画面で「カット」を選択します。



▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

お願い

- 操作を続ける前に、カットする模様が素材のサイズに合わせてカット範囲にレイアウトされていることを確認してください。

❷ スタート／ストップボタンを押して、カットを開始します。

▶ 1 つめのパーツがカットされた後、次のメッセージが表示されます。「次のパーツを選択する」キーを押して、2 つめのパーツをカットします。

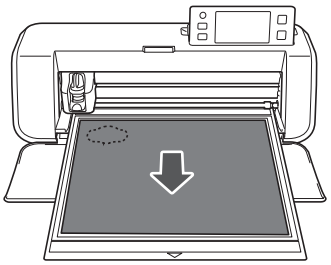


▶「次のパーツを選択する」キーを押すと、マットに配置した 1 つめのパーツがクリアされて、模様パーツリスト画面に戻ります。

■ マットを排出する

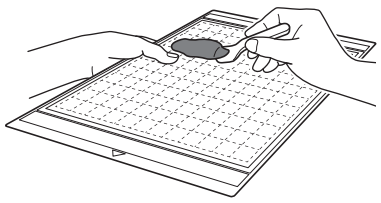
❶ 操作パネルの [ ] を押して、マットを排出します。

異なる色の素材をマットに貼り替えたい場合は、1 つめの模様パーツに使用していた素材を排出します。



❷ カットした模様パーツをマットからはがします。

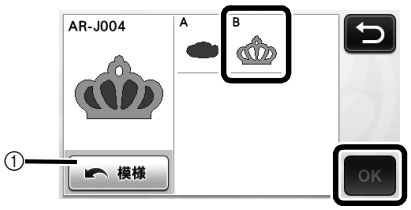
素材のはがし方について詳しくは、P.22 「マットを排出する」を参照してください。



■ 2 つめの模様パーツを選択／編集する

❶ 2 つめの模様パーツを選択して編集し、「OK」キーを押します。

模様の編集について詳しくは、P.29 「1 つめの模様パーツを選択／編集する」の手順❻ ～ ❽ を参照してください。



① このキーを押すと、模様カテゴリー選択画面に戻り、ほかの模様を選択できます。

❷ P.21 「マットを挿入する」と P.22 「カットする」の手順に従って、2 つめの模様パーツに使用する素材を準備してカットします。

▶ カットが完了したら、メッセージが表示されます。

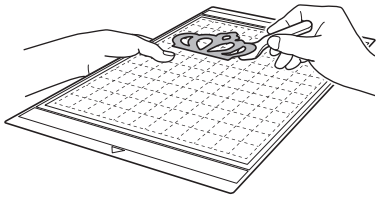
❸ すべての模様パーツがカットされたら、「終了する」キーを押します。



▶ ドロー／カット選択画面に戻ります。

■ マットを排出する

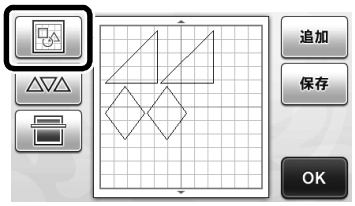
カットした模様パーツをマットからはがします。素材のはがし方について詳しくは、P.22 「マットを排出する」を参照してください。



模様を選択する

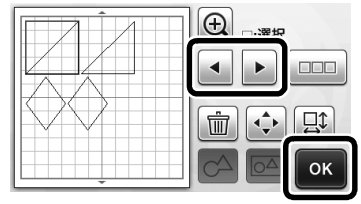
レイアウト編集画面では、用途に応じて 4 つの模様選択機能を活用できます。

▶ 模様レイアウト画面で を押して、模様を選択します。



1 つの模様を選択する

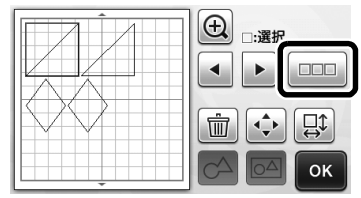
レイアウト編集画面で模様を押すか、 または を押して、模様を 1 つ選択し「OK」キーを押します。
選択した模様が赤い枠で囲われます。



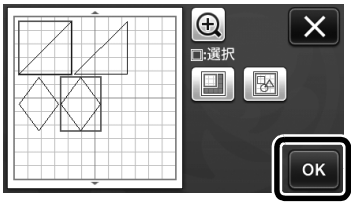
複数の模様を選択する

■ お好みの模様を選択する

❶ 複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で を押します。



❷ 選択したい模様をすべて画面上で選択し、「OK」キーを押します。



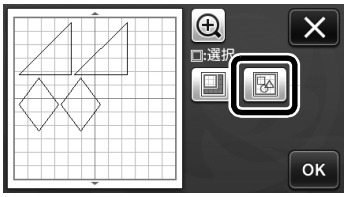
お知らせ

- 赤い枠で囲われた選択済みの模様をもう一度押すと、模様の選択が解除されます。
- 画面上の空白の部分を押すと、すべての模様が選択解除されます。

■ すべての模様を選択する

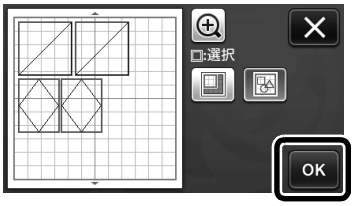
❶ 複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で を押します。

❷ を押して、画面上のすべての模様を選択します。



❸ 画面を確認して、「OK」キーを押します。

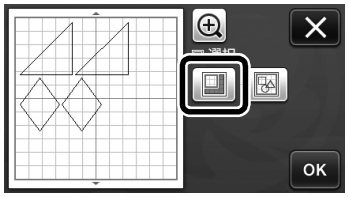
▶ 選択したすべての模様が赤い枠で囲われます。



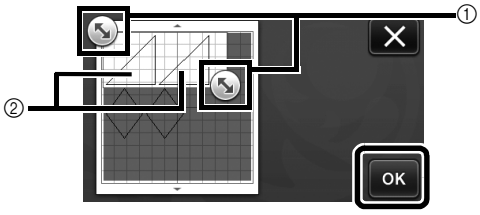
■ 選択範囲内の模様を選択する

❶ **複数の模様を選択するため、レイアウト編集画面で を押します。**

❷ **を押して、模様の選択範囲を設定します。**



❸ **選択範囲の変更キーをドラッグして選択範囲を設定し、「OK」キーを押します。**



① 選択範囲の変更キー
② 選択したい模様

お知らせ

- 選択範囲内の模様を選択する方法は、模様の結合や統合、スキャン後に不要な画像を削除するときに便利です。(→ P.53 参照)

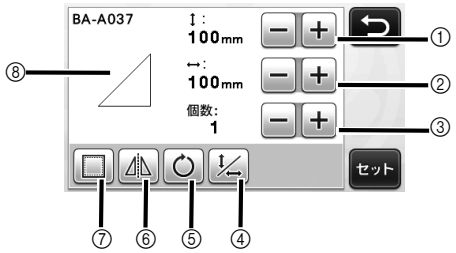
カット／編集機能

模様を編集する

選択した模様によって、模様編集機能が異なります。詳しくは、以下の説明または、P.35 「模様を編集する－多色の模様」を参照してください。

以下の画面を表示します

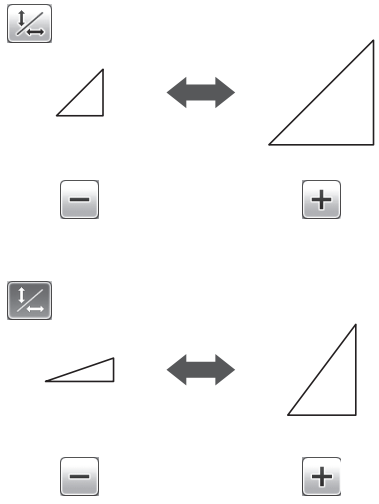
模様編集画面	→ チュートリアル 1：P.26 「1つめの模様を選択／編集する」手順❹



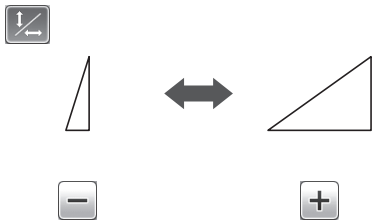
お願い

- カットする模様によって、縮小するときれいにカットできない場合があります。カットを始める前に、作品に使用する素材を使って試し切りをしてください。

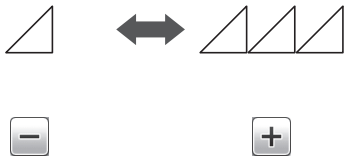
① **サイズ変更（高さ）**
縦横比を保ちながら、模様の高さを変更します。
＋または－を押して設定を変更します。↕を押すと、高さだけを変更できます。



② **サイズ変更（幅）**
縦横比を保ちながら、模様の幅を変更します。＋または－を押して設定を変更します。↔を押すと、幅だけを変更できます。

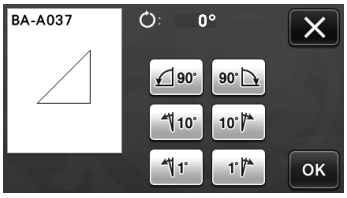


③ **コピー**
模様のコピーを作ります。＋または－を押して、コピーする模様の数を設定します。

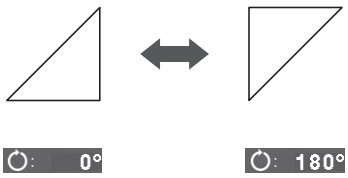


④ **縦横比の保持を解除する**
↕を押すと、縦横比を保持せずに模様のサイズを変更できます。選択した模様によっては、この機能を使用できません。キーが無効で押せないときは、その模様は縦横比を保持した状態でのみ、サイズ変更をすることができます。

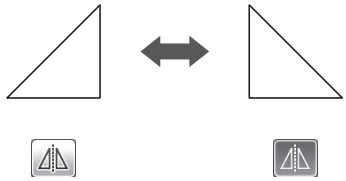
⑤ **回転**
模様を回転します。



お好みの角度のキーを押します。

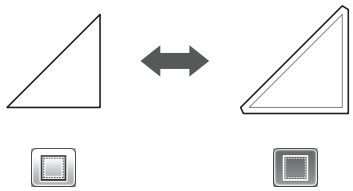


⑥ **反転**
縦方向を軸にして、模様を反転します。



⑦ **ぬいしろ**
模様にぬいしろを付加します。アップリケピースやキルトピースを作るときなど、ドローした模様の周囲をカットする際に設定します。設定するとドロー線（青色）とカット線（黒色）が表示されます。

- ぬいしろ機能について詳しくは、P.45 「ドロー線の周囲をカットする」を参照してください。



お知らせ

- 模様によっては、ぬいしろがあらかじめ付加されています。設定を確認してください。

⑧ **プレビュー**
編集する模様のプレビューを表示します。

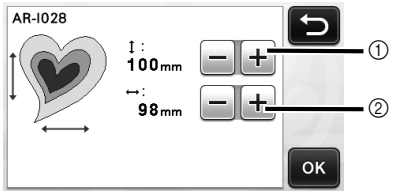
模様を編集する－多色の模様

選択した模様によって、模様編集機能が異なります。詳しくは、以下の説明または、P.34 「模様を編集する」を参照してください。

■ サイズ変更

以下の画面を表示します

サイズ変更画面	→ チュートリアル 2：P.29 「1つめの模様パーツを選択／編集する」手順❺



① 模様の高さを変更します（縦横比保持）
② 模様の幅を変更します（縦横比保持）

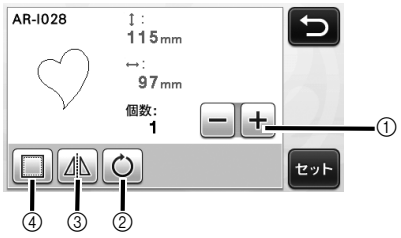
お知らせ

- サイズ変更画面に表示される模様パーツは、サイズ変更のとき縦横比を保持します。

■ 模様パーツを編集する

以下の画面を表示します

模様パーツ編集画面	→ チュートリアル 2：P.29 「1つめの模様パーツを選択／編集する」手順❼



① コピー
② **回転**
③ **反転**
④ **ぬいしろ**

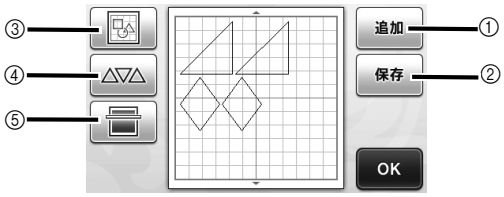
- それぞれのキーの使い方について詳しくは、P.34 「模様を編集する」を参照してください。

模様レイアウト画面

模様の配置を変更できます。プレビュー画面には、P.24 「カット範囲」の手順で設定画面から設定されたカット／ドロー範囲が表示されます。模様のレイアウトを、設定した範囲内に収まるように編集します。

以下の画面を表示します

模様レイアウト画面	→ チュートリアル 1：P.27 「2つめの模様を選択／編集する」手順❺



① **模様の追加**
模様を追加します。
▶ このキーを押すと、模様カテゴリー選択画面が表示されます。そこから、追加したい模様を選択します。

② **保存**
模様のレイアウトデータを保存します。詳しくは、P.42 「データを保存する」を参照してください。

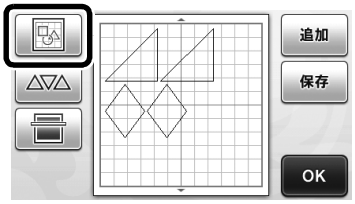
③ **編集**
配置された模様の移動、削除などの編集操作ができます。詳しくは、P.36 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。

④ **自動レイアウト**
模様の間隔を自動で調整します。詳しくは、P.39 「模様を自動でレイアウトする」を参照してください。

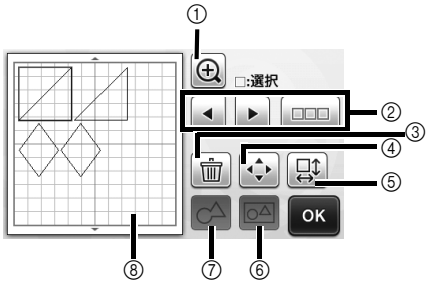
⑤ **背景スキャン**
カット／ドローする素材をスキャンして、模様レイアウト画面の背景として表示できます。
素材の特定の場所を使ってカット／ドローしたいときや、すでにカットに使用した素材を再利用するときなどに便利です。詳しくは、P.39 「背景画像をスキャンする」を参照してください。

レイアウトした模様を編集する

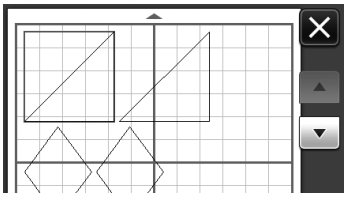
模様レイアウト画面で、  を押すと配置した模様を編集できます。



▶ レイアウト編集画面が表示されます。



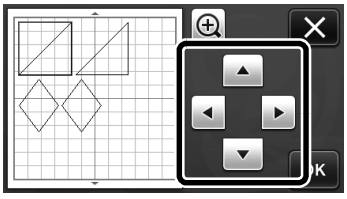
① **拡大**
模様を拡大表示します。矢印キーを押して、画面をスクロールできます。



② **模様選択**
模様を 1 つずつ選択したり、複数の模様を一度に選択して、編集することができます。詳しくは、P.32 「模様を選択する」を参照してください。

③ **削除**
選択した模様を削除します。

④ **移動**
選択した模様を移動します。矢印キーを押して、模様の位置を調整します。



お知らせ

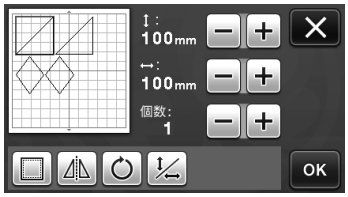
- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。

⑤ **模様を個別に編集する**

選択した模様を個別に編集します。

▶ このキーを押すと、模様編集画面が表示されます。表示された画面で、それぞれの模様を編集します。

- 詳しくは、P.34 「模様を編集する」を参照してください。



お知らせ

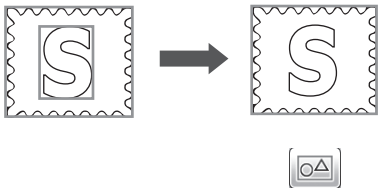
- 複数の模様を一度に選択しているとき、模様を個別に編集することはできません。
- ぬいしろの付加、模様の反転などの編集の結果、模様のカット線がカット／ドロー範囲から出た場合は、カット線が灰色になります。その際は、模様がカット／ドロー範囲に収まるように、移動してください。

⑥ **統合（複数の模様をグループ化する）**

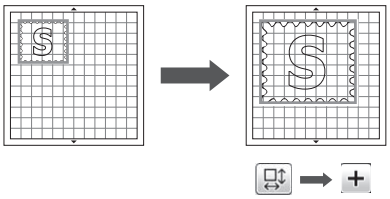
レイアウト編集画面で、選択した複数の模様を統合して、1 つの模様として編集できます。複数の模様の大きさを一度に拡大・縮小したいときなどに便利です。

レイアウト編集画面で を押すと、複数の模様を選択できます。詳しくは、P.32 「複数の模様を選択する」を参照してください。

▶ 統合



▶ 複数の模様の大きさを一度に拡大する



⑦ **結合（複数の模様のアウトラインを合体させる）**

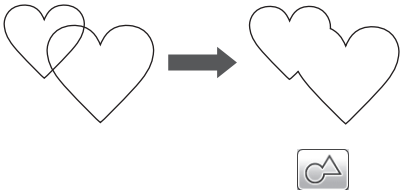
複数の模様のアウトラインを結合して、1 つのアウトラインを作ります。詳しくは、P.37 「模様を結合する（複数の模様のアウトラインを合体させる）」を参照してください。

⑧ **プレビュー**

編集する模様のプレビューを表示します。

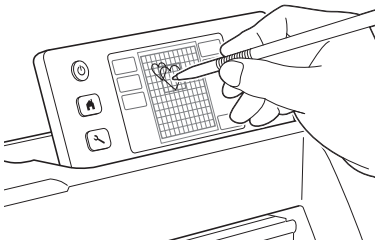
模様を結合する（複数の模様のアウトラインを合体させる）

レイアウト編集画面で複数の模様を選択し、選択した模様のアウトラインを統合して 1 つのアウトラインにします。

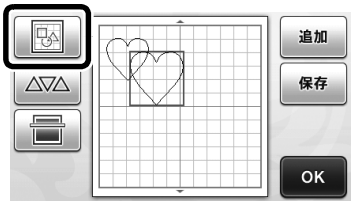


❶ 2 つの、サイズの異なるハート型模様を選択して、模様レイアウト画面に配置します。

❷ 模様レイアウト画面で、大きいハート型模様を選択して、小さいハート型模様に重ねるように、ドラッグして移動させます。

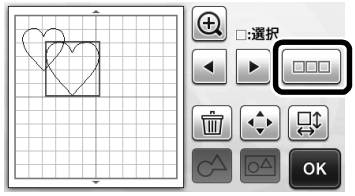


❸ 模様レイアウト画面で を押します。



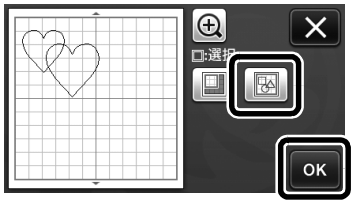
❹ **レイアウト編集画面で[□□□]を押します。**

- レイアウト編集画面の詳細は、P.36 「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。

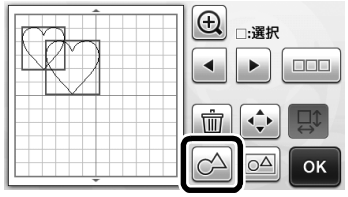


❺ **[ ]を選択して、「OK」キーを押します。**

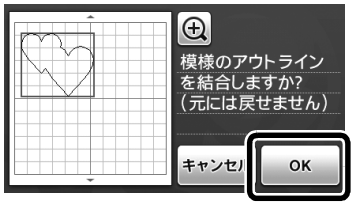
- 2 種類の模様選択方法があります。複数の模様選択について詳しくは、P.32 「複数の模様を選択する」を参照してください。



❻ **[ ]を押します。**



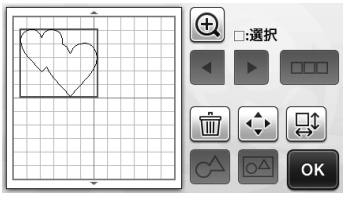
❼ **プレビューを確認して、「OK」キーを押します。**



お願い

- 模様のアウトラインを結合した後は、元に戻せません。元の模様が必要な場合は、もう一度模様を選択して、編集してください。

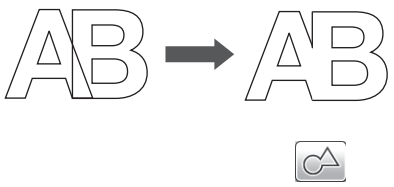
▶ 選択した模様のアウトラインは結合されました。



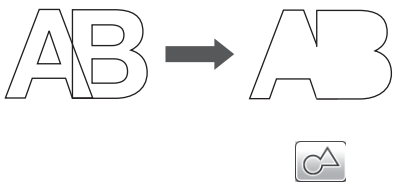
お願い

- 結合機能を使うと、模様の一番外側のアウトラインが結合されます。内側にカット線がある模様を結合すると、内側のカット線が穴として残る場合と残らない場合があります。結合した模様が、希望どおりになっているか、プレビュー画面で確認してから、操作を完了してください。

  - 内蔵模様を結合した場合



  - スキャン機能で作成した模様を結合した場合

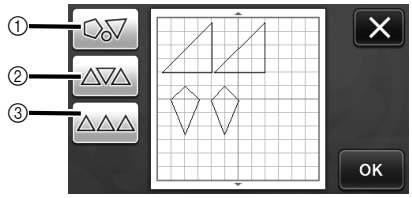


模様を自動でレイアウトする

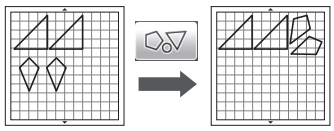
自動レイアウトはマットに貼りつけた素材を無駄なく使いたいときに便利な機能です。△▽△を模様レイアウト画面（→ P.36 参照）で押してください。

お願い

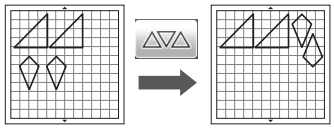
- 模様の間隔が狭すぎると、選択した模様やカットする素材によってはきれいにカットできない場合があります。その場合、模様のレイアウトを変更して、間隔を少し広げてください。
- 模様をレイアウトしたときの間隔は、設定画面で設定できます（P.25 「模様間隔」参照）。設定を変更した後は、変更した設定を適用させるために、再度自動レイアウトを行ってください。
- 布用粘着サポートシートを貼ったマットに布を貼り付けて模様をカットするときは、「模様間隔」を「3」以上に設定してください。



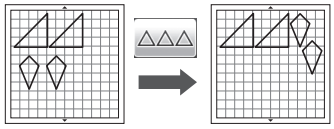
① **模様を自由に回転してレイアウト**
たくさんの模様を限られたスペースに配置するときに便利です。



② **模様の回転なし／180° 回転でレイアウト**
カット／ドロー素材とする紙の縦模様や、縦方向の布目を活かして配置したい場合に便利です。

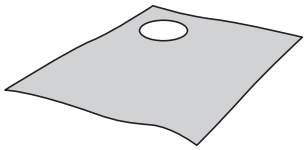


③ **模様の回転なしでレイアウト**
カット／ドロー素材とする紙の模様や布目を活かして配置したい場合に便利です。



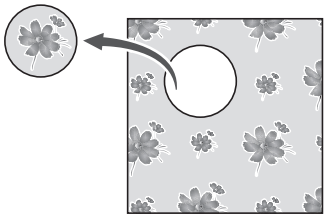
背景画像をスキャンする

例として、左上部分が切り取られたカット素材を背景にします。



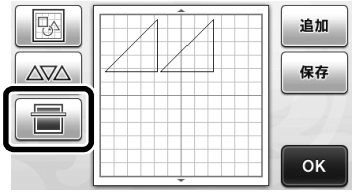
お知らせ

- 柄のついた素材から柄の部分を切り抜きたいときにも、背景スキャン機能は便利です。スキャンした背景画像を確認して、模様をレイアウトし、特定の柄を切り抜いてください。

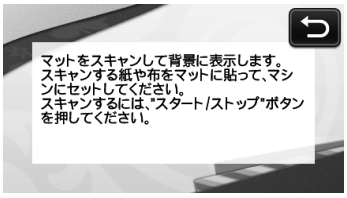


- この機能は、別売のスキャン用マット は使用できません。

❶ 模様レイアウト画面で、を押して背景スキャン機能をスタートします。

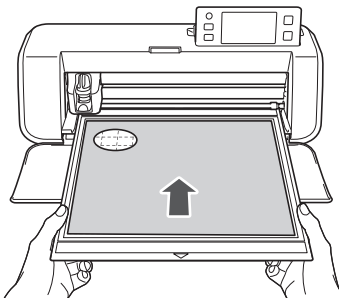


▶ 次のメッセージが表示されます。



❷ 背景に使用したい素材をマットに貼り、マットを差し込み、操作パネルの[ ]を押します。

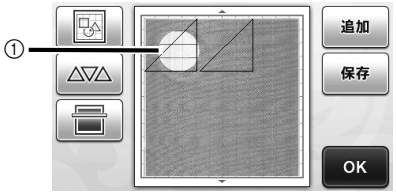
素材の準備とマットの挿入について詳しくは、P.21「マットを挿入する」を参照してください。



▶ マットが送られ、操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

❸ スタート／ストップボタンを押して、スキャンを開始します。

▶ スキャンが完了すると、模様レイアウト画面にスキャンされた素材が背景として表示されます。



① 左上が切り取られた素材が背景として表示されます。

お知らせ

- 画面に表示される模様が、背景と重なって見づらい場合は、設定画面で背景表示のコントラストを調整することができます。操作パネルで[ ]を押して、設定画面を表示します。

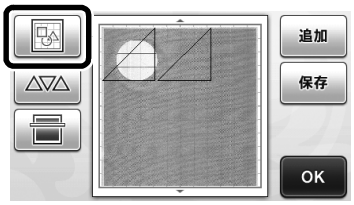


▶ [ ]：背景画像を濃くする

▶ [ ]：背景画像を薄くする

▶ [OFF]：背景画像を表示しない

❹ [ ]を押します。



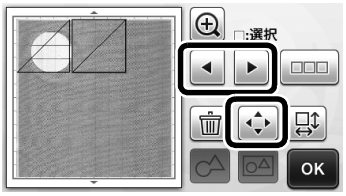
▶ レイアウト編集画面が表示されます。

お知らせ

- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。

❺ レイアウト編集機能を使って、模様を移動します。

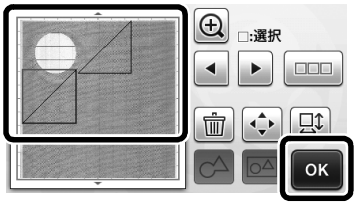
- 模様の移動については、P.36「レイアウトした模様を編集する」を参照してください。



お知らせ

- 画面上で模様をドラッグして移動することもできます。

❻ 画面上の模様が、背景素材の切り取られている部分と重なっていないことを確認して、「OK」キーを押してください。



お知らせ

- スキャンした素材が排出されると、背景は消去されます。

文字入力機能

文字を模様として選択、編集、カット、ドローできます。模様カテゴリー選択画面から、文字タイプを選択してください。



① ロゴを選択します。ロゴは模様として、編集、カット、ドローできます。編集について詳しくは、P.34 「模様を編集する」を参照してください。
② お好みの文字の組み合わせを入力してください。

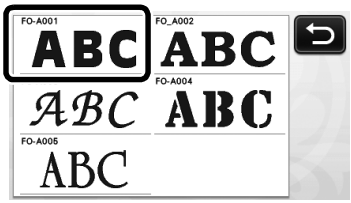
「RAINBOW」を入力する

❶ 模様カテゴリー選択画面でフォントカテゴリーを選択します。



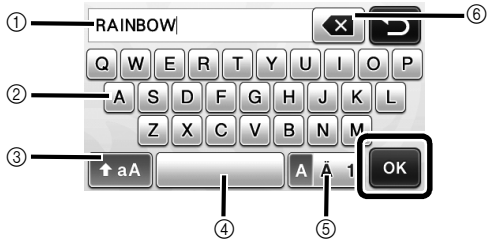
❷ お好みのフォントタイプを押します。

5 種類のフォントタイプからお好みのフォントを選択できます。



❸ 文字を入力します。

入力キーボードは QWERTY 配列です。入力を終えたら「OK」キーを押してください。



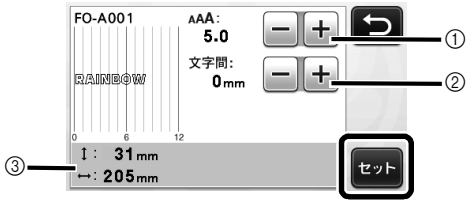
① 入力文字表示
② 文字入力キー
③ 大文字／小文字選択キー
④ スペースキー
⑤ アルファベット／アクセント文字／数字選択キー
⑥ バックスペースキー（入力表示された文字の後ろから一文字を消去します。）

お知らせ

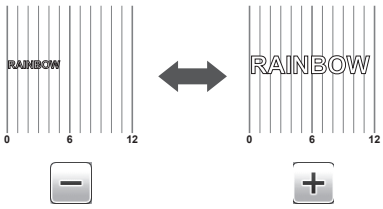
- 入力した文字列がカット／ドロー範囲に収まらない場合、文字のサイズが自動的に縮小されます。

❹ 文字サイズと文字間設定を調整します。

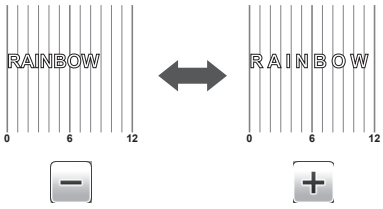
＋または－を押して、文字サイズと文字間を調整します。調整が完了したら、「セット」キーを押してください。



① 文字サイズ調整キー



② 文字間調整キー



③ 文字列全体の長さ

❺ 文字の配置を確認します。

カット、ドローをする場合は、「OK」キーを押してください。
データとして保存する場合は、「保存」キーを押してください。データ保存について詳細は、P.42 「データを保存する」を参照してください。



お知らせ

- 入力した文字は、文字列全体として編集ができます。1 文字ずつ個別に編集することはできません。

メモリー機能

カット／ドロー範囲の中にレイアウトされた模様と文字は、保存して、後から呼び出すことができます。保存先、呼び出し元として、本体内蔵メモリーまたはUSBメモリーを選択することができます。

お願い

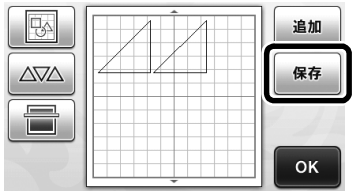
- USBメモリーによっては、本製品で使用できないことがあります。使用可能なUSBメモリーについては、ブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp/）で確認してください。
- 本製品はUSBハブに対応していません。USBポートにはUSBメモリーを直接差し込んでください。

データを保存する

以下の画面を表示します

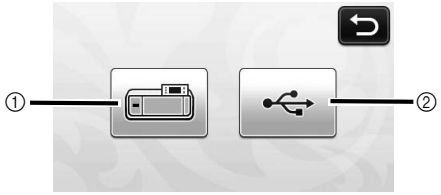
模様レイアウト画面	→ チュートリアル1：P.27「2つめの模様を選択／編集する」手順❺

❶「保存」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



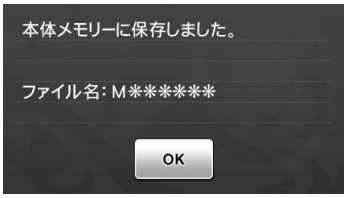
❷ お好みの保存先を押します。

- USBメモリーに保存する場合、本体のUSBポートにUSBメモリーを接続してください。



① 本体内蔵メモリーに保存する

▶ キーを押すと保存開始します。保存が完了すると、以下のメッセージと、保存したデータの名前が表示されます。



② USBメモリーに保存する

▶ キーを押すと保存を開始します。保存が完了すると、以下のメッセージと、保存したデータの名前が表示されます。



- 保存データのファイル名は、自動でつけられ、拡張子「.fcm」が末尾に追加されます。

お願い

- データを保存中は、USBメモリーを本体から抜かないでください。

❸「OK」キーを押して、データの保存を完了します。

▶ 保存先選択画面が再び表示されます。

データを呼び出す

以下の画面を表示します

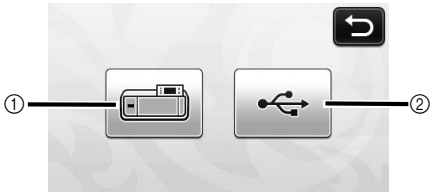
模様編集画面	→ チュートリアル1：P.26「1つめの模様を選択／編集する」手順❹

❶「データ呼び出し」キーを押して、保存先選択画面を表示します。



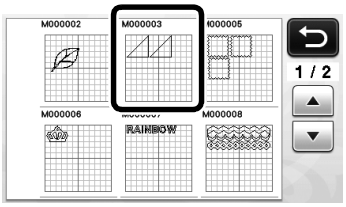
❷ 呼び出したいデータの保存先を選択し、お好みの模様を選択します。

- USB メモリーからデータを呼び出す場合、本体の USB ポートに USB メモリーを接続してください。



① 本体内蔵メモリーから呼び出す

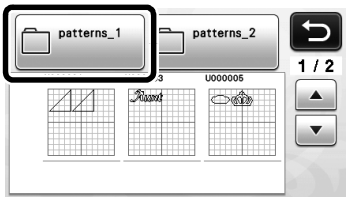
▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトのプレビューを表示します。



② USB メモリーから呼び出す

▶ USB メモリーにフォルダーがある場合、フォルダーを押すと、フォルダー内の模様を表示されます。

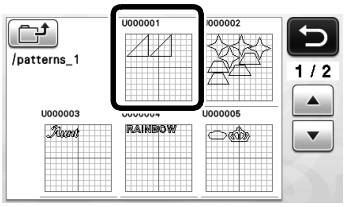
- たくさんのフォルダーや模様がある場合、矢印キーを押して画面表示を上下にスクロールしてください。



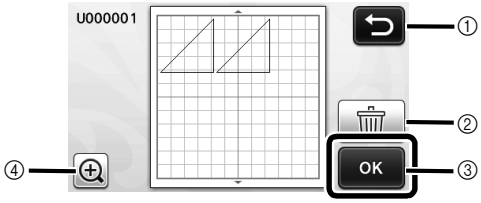
お願い

- データやフォルダーの名前に特殊な文字が使われているなどの理由で、本製品が名前を読み込めない場合、画面上にそのデータやフォルダーを表示することができません。
このような場合は、ファイルやフォルダーの名前を変更してください。26 文字のアルファベット（大文字／小文字）、0~9 の数字、「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」の使用を推奨します。

▶ 呼び出す模様を押して、模様レイアウトプレビューを表示します。



❸ 画面の模様レイアウトプレビューを確認して、「OK」キーを押します。



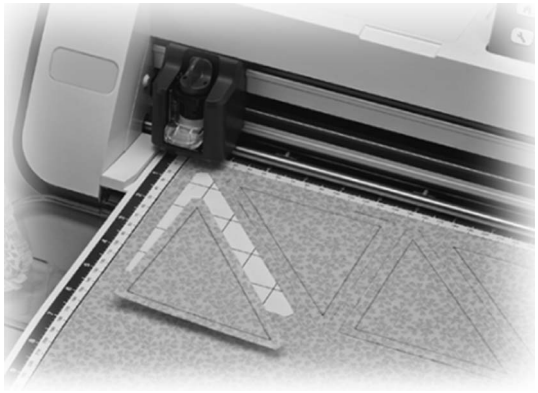
① 元の画面に戻ります。
② 表示された模様レイアウトを削除します。
③ 模様レイアウトデータを呼び出します。
④ 模様を拡大表示します。

お知らせ

- ぬいしろが付加された模様が含まれるデータ（P.45「ドロー線の周囲をカットする」参照）を呼び出したとき、データを保存したときのぬいしろ幅の設定と現在設定されているぬいしろ幅の設定が異なる場合は、現在設定されている値が優先されます。必要に応じて、設定画面で「ぬいしろ幅」設定を調節してください（P.25「ぬいしろ幅」参照）。

ドロー機能

ペンとペンホルダーを使って、素材に模様を描くこと（ドロー）ができます。ぬいしろ幅を設定して、素材にぬいしろを描いてからカットすることもできます。ドロー機能は、キルトピースの作成に便利です。



■ 準備

ドロー機能を使うためには、以下のアクセサリーが必要です。本製品に付属されていないアクセサリーは、別売品を購入してください。

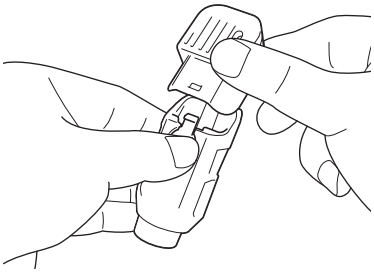
- ペンホルダー
- チャコペンセットまたはカラーペンセット
- ドローする素材に適したマット
- カットする素材に適した刃とホルダー
- カット／ドローする布に適したアイロン接着シートまたは布用粘着サポートシート

ドローする

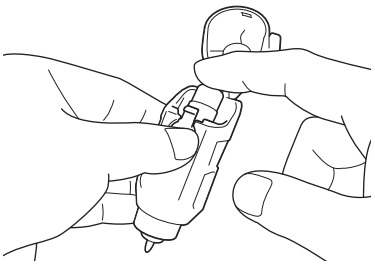
例として、内蔵模様を素材に描きます。

■ ペンホルダーを用意する

❶ ペンホルダーの中心のボタンを押してフタを開けます。



❷ ペンのキャップを外し、先端を下にしてペンホルダーに差し込みます。



❸ ペンホルダーのフタをしめます。

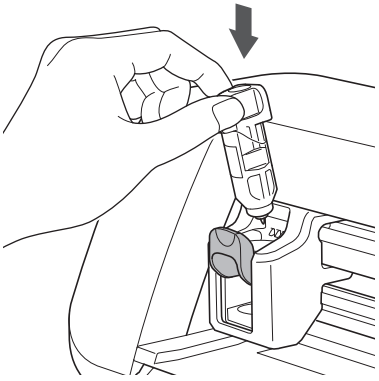
お願い

- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

■ ドローする

❶ ホルダーのつまみをつかんで、ペンホルダーを、ボタンを奥に向けた状態でキャリッジに取り付けます。

- 詳しくは、P.20 「ホルダーの取り付け／取り外し」を参照してください。

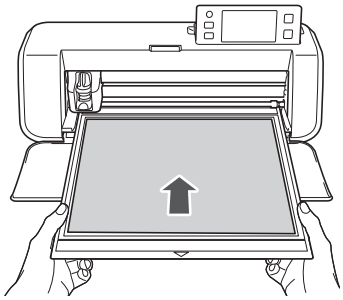


❷ 模様を選択、編集します。

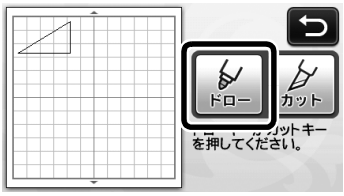
- 模様の選択、編集について詳しくは、P.26 「1つめの模様を選択／編集する」を参照してください。

❸ ドロー（カット）素材を貼りつけたマットを挿入します。

- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルの[▦]を押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。



❹ ドロー／カット選択画面で、「ドロー」を選択します。

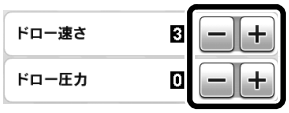


▶ ドロー線が青く表示されます。

❺ ドロー速さとドロー圧力を調節します。

ドローを開始する前に、ドロー速さとドロー圧力を設定してください。設定は、設定画面からできます。操作パネルの[🔧]を押します。

▶ [＋]または[－]を押して、設定を変更します。



お願い

- ドロー圧力が強すぎると、ペン先が破損するおそれがあります。適切な設定に調節してください。

お知らせ

- ドロー圧力の調節によって、作品の仕上がりが変わります。実際にドローに使う素材と同じ素材で確認しながら設定してください。

❻ 操作パネルのスタート／ストップボタンを押して、ドローを開始します。

お願い

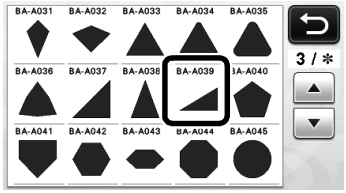
- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

ドロー線の周囲をカットする

例として、内蔵模様にぬいしろを設定し、模様をドローしてから、そのまわりをカットします。

■ ぬいしろ幅を設定する

❶ ドローする模様を押します。

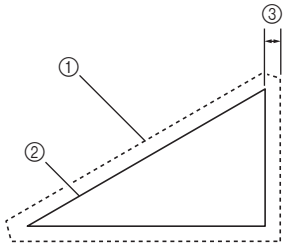


❷ ぬいしろ幅を設定します。

設定画面で、ぬいしろ幅（模様のアウトラインからカット線までの距離）を設定します。操作パネルの[🔧]を押して、設定画面を表示します。

▶ [◀]または[▶]を押して、設定を変更します。



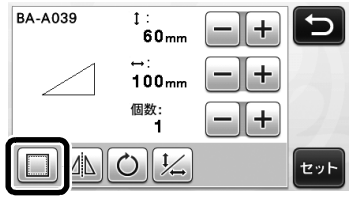


① ぬいしろ線
② 模様アウトライン（縫製位置）
③ ぬいしろ幅

▶ 設定が完了したら「OK」キーを押し、模様編集画面に戻ります。

❸ ぬいしろを付加します。

[□]を押すと、ぬいしろが付加されます。[□]がグレー表示されている場合は、ぬいしろを付加できません。

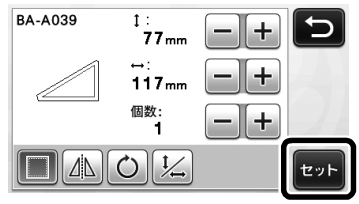


お知らせ

- 模様によっては、ぬいしろがあらかじめ付加されています。設定を確認してください。

▶ プレビューされた模様は、ドロー線（青）とカット線（黒）で表示されます。

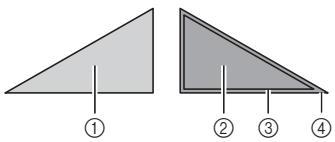
❹「セット」キーを押して、模様の編集を完了します。



お知らせ

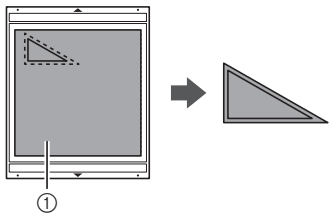
- 布の裏側にぬいしろをドローするときは、模様を反転させてください。

作成する模様パーツのイメージ



① 布の表側
② 布の裏側
③ ドロー線（縫製位置）
④ ぬいしろ線

▶ 布の裏面を表にしてマットに貼りつけた後、マットを差し込み、模様を反転してからドロー／カットしてください。

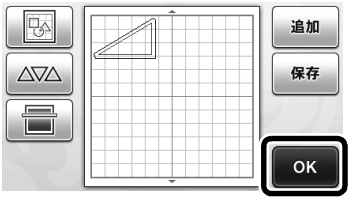


① 布の裏面

❺ 模様の配置を確認してから、「OK」キーを押します。

布の端に模様を配置するときれいにカットされないことがあります。その場合、布の端（画面のカット／ドロー範囲の端）から 10mm 以上離して模様を配置してください。

- 模様の配置を再度編集する場合は、[□]を押してください。詳しくは、P.36 「模様レイアウト画面」を参照してください。

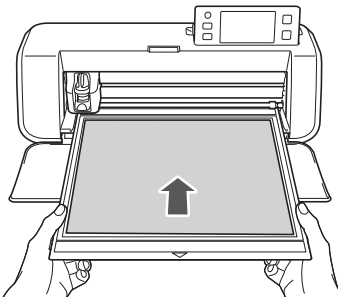


▶ ドロー／カット選択画面が表示されます。

■ マットを挿入する

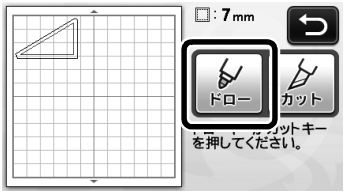
カット（ドロー）する素材を貼ったマットを差し込みます。
布の裏側にぬいしろをドローするときは、布の裏面を上にしてマットに貼りつけてください。

- 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。
- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルの[▦]を押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

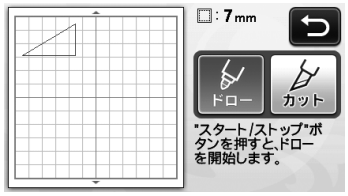


■ ドローする

❶「ドロー」キーを押します。



▶ ドローする線のプレビューが表示されます。

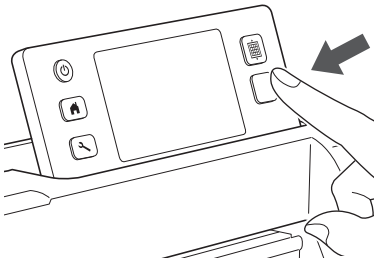


▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

❷ ペンの圧力を調節します。

ドロー圧力の調節について詳しくは、P.45 「ドローする」の手順❺ を参照してください。

❸ スタート／ストップボタンを押してドローを開始します。

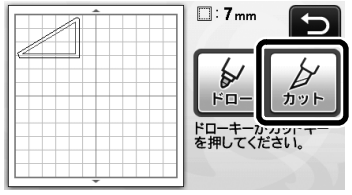


▶ ドローが完了したら、画面にメッセージが表示されます。「OK」キーを押すと、ドロー／カット選択画面が表示されます。

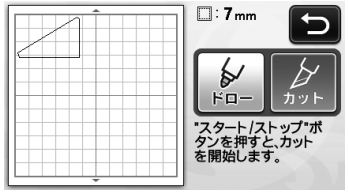
- ドロー圧力を調節するために、試し描きをする場合は、この操作の手順❶ から ❸ を繰り返してください。
- ドローした模様の周囲をカットするときは、マットを差し込んだ状態で を押さずに以下のカット操作に進んでください。

■ カットする

❶「カット」キーを押します。

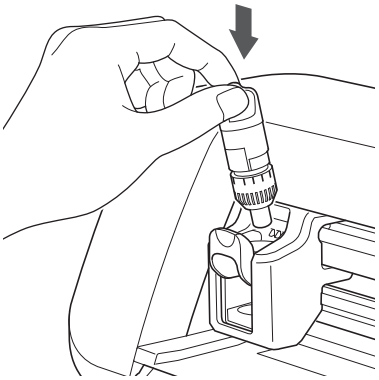


▶ カット線のプレビューが表示されます。



▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

❷ ペンホルダーを取り外し、刃用のホルダーを取り付けます。



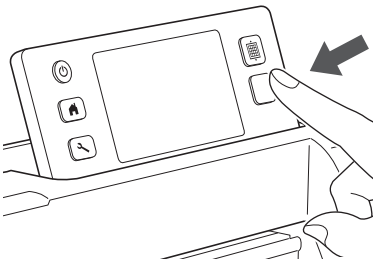
お願い

- 使用後は、ペンホルダーからペンを取り外し、ペンのキャップをしめてから保管してください。

⚠ 注意

- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

❸ スタート／ストップボタンを押して、カットを開始します。

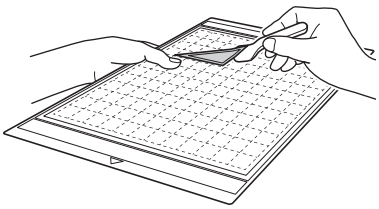


▶ カットが完了すると、ドロー／カット選択画面が表示されます。

❹ 操作パネルの を押して、マットを排出します。

❺ マットから模様をはがします。

- 詳しくは、P.22 「マットを排出する」を参照してください。



第 4 章　スキャン機能

スキャンした素材をカットする（ダイレクトカット）

プリントされた画像やオリジナルの手描きイラストなどをスキャンして、そのアウトラインをカット／ドローします。ペーパークラフト用の画像を読み込んで、切り抜きなどする場合にも便利です。



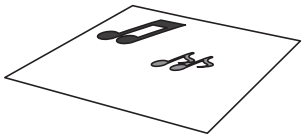
チュートリアル 3　スキャンした素材をカットする

このチュートリアルでは、紙に描いたイラストをスキャンし、そのまわりをカットします。



■ 準備

❶ 素材を準備します。



「ダイレクトカット」モードを使用する場合は、以下のようなスキャン素材を用意してください

- かすみ、ぼやけ、グラデーションがなく、はっきり描かれた模様
- 5 mm 四方程度以上の大きさの模様
- 細かすぎる柄が使われていない模様



❷ ⏻を押して、本体の電源を入れます。

- 詳しくは、P.11 「本体の電源を入／切する」を参照してください。

❸ ホルダーを本体のキャリッジに取り付けます。

- 詳しくは、P.20 「ホルダーの取り付け／取り外し」を参照してください。

■ スキャンする

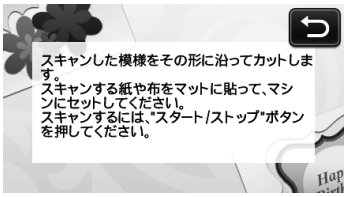
❶ ホーム画面の「スキャン」キーを押して、スキャンモードを選択します。



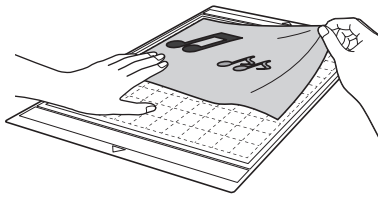
❷ スキャンモード選択画面で、「ダイレクトカット」を選択します。



▶ メッセージが表示されます。



❸ マットにスキャン素材を貼りつけます。



お知らせ

- 「ダイレクトカット」モードでは、別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットとスキャン用マットは使用できません。
- マットにスキャン素材を貼りつける前に、素材の端をマットの接着面に貼って、試してください。

❹ マットを水平に持ちながら、マット送りに軽く差し込み、操作パネルの を押します。

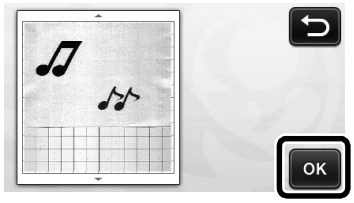
- 詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

▶ 操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

❺ スタート／ストップボタンを押してスキャンを開始します。

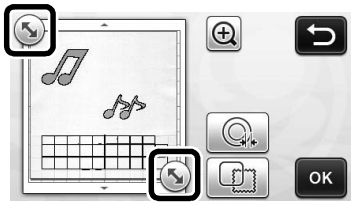
▶ スキャンが完了したら、画面にスキャン画像が表示されます。

❻ スキャンした画像を確認して、「OK」キーを押します。



■ カット線を編集する

❶ 画像トリミング画面で、タッチペンで をドラッグして画像をトリミングします。



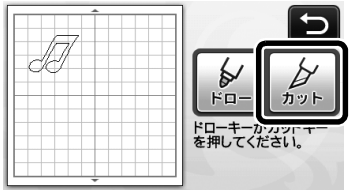
❷「OK」を押して、トリミングした範囲を確定します。

- を押すと、取り込んだイメージに枠模様を付けて、さまざまな形にカットすることができます。枠模様の選択については、P.50 「ダイレクトカットの応用機能」を参照してください。



■ カットする

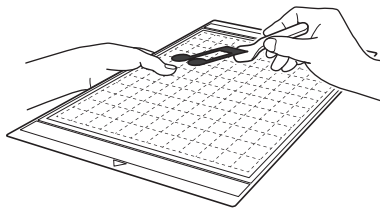
❶「カット」キーを押します。



▶「カット」キーがハイライト表示され、操作パネルのスタート／ストップボタンが点灯します。

❷ スタート／ストップボタンを押してカットを開始します。

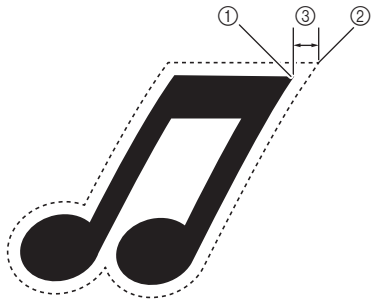
- カット後のマットの排出について詳しくは、P.22 「マットを排出する」を参照してください。



ダイレクトカットの応用機能

■ アウトライン距離を設定する

カット線からスキャン画像のアウトラインまでの距離を設定します。



① 模様のアウトライン
② カット線
③ アウトライン距離

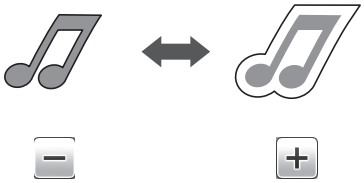
以下の画面を表示します

画像トリミング画面	→ チュートリアル 3：P.49 「カット線を編集する」手順❷



▶ 設定画面が表示されます。[+]または[−]を押して、設定を変更します。





■ アウトライン／枠をつける

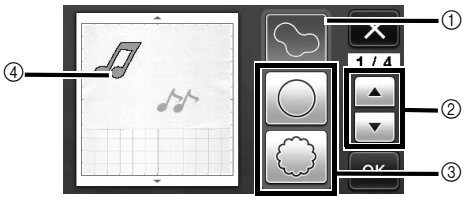
スキャンした画像のカット線をお好みの形状に設定することができます。

以下の画面を表示します

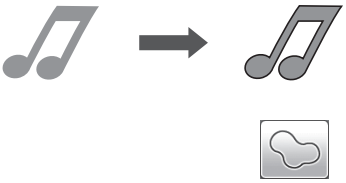
画像トリミング画面	→ チュートリアル 3：P.49 「カット線を編集する」手順❷



▶ 設定画面が表示されます。

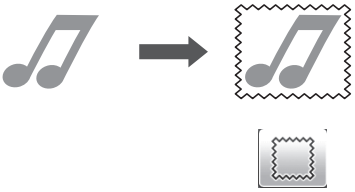


① **アウトラインをつける**
キーを押すと、スキャンしたイメージのアウトラインにそってカット線を作成します。



② **枠形状スクロール**
[▲]または[▼]を押して枠のリスト表示を上下にスクロールします。

③ **枠を付ける**
お好みの枠キーを押すと、指定された枠形状のカット線を作成します。
- 複数の模様がある場合、枠はそれぞれの模様に設定されます。



④ **プレビュー**
選択した枠形状のカット線をスキャン画像と一緒に表示します。

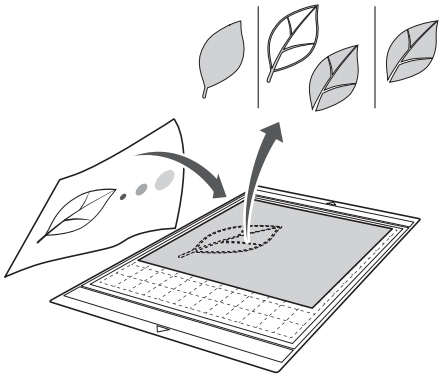
カットデータを作成する

プリントされた模様や画像、オリジナルの手描きイラストなどをスキャンして、本製品でカット／ドローするためのカット線へ変換したのち、データとして保存することができます。



チュートリアル 4　カットデータを作成する

このチュートリアルでは、カットデータとして紙に描かれたイラストを保存します。



■ スキャンする

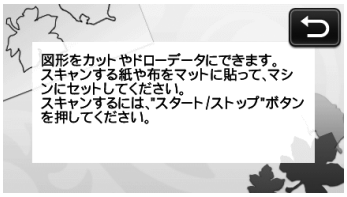
❶ ホーム画面で「スキャン」を押して、スキャンモードを選択します。



❷ スキャンモード選択画面で「カットデータ作成」を選択します。



▶ メッセージが表示されます。



❸ マットに素材を貼りつけて、マットをマット送りに差し込みます。

- マットを軽くマット送りに差し込み、操作パネルの[ ]を押します。
- マットの挿入について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

お知らせ

- 「カットデータ作成」モードのとき、別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットは使用できません。

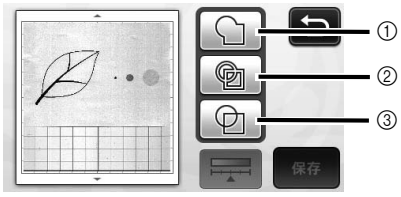
❹ スタート／ストップボタンを押してスキャンを開始します。

▶ スキャンが完了すると、画面にスキャン画像が表示されます。

■ カットデータを編集する

❶ 画像編集画面で認識方法を選択します。

イメージ形状が認識され、3 種類の基準に従ってカット線が作成されます。この例では、[ ]を押して、面認識によるカット線を作成します。



認識方法によるカット線の違い

	① アウトライン認識	② 面認識	③ 線認識
元イメージ			
カット線			
カット後の完成品			

① **アウトライン認識**
イメージのアウトラインをカット線へ変換します。アップリケ用に描いた手描きイラストなどをデータ化して保存する場合に便利です。

② **面認識**
イメージの中で色付けされている部分を面と認識して、その周りをカット線に変換します。イメージの縁取り線や文字イラストなど、描いた線の太さを生かして切り抜くことができます。切り抜いた模様ばかりでなく、レースのように切り抜かれた素材自体も作品として楽しむことができます。

③ **線認識**
線の中心を認識して、カット線へ変換します。複数のパーツから構成される模様を認識して、それぞれのパーツごとにカット線を作成したい場合などに便利です。

お知らせ

- 1.5 mm より太い線は、線として認識されません。

❷ タッチペンで↘をドラッグしてカット線をトリミングして、「保存」キーを押します。

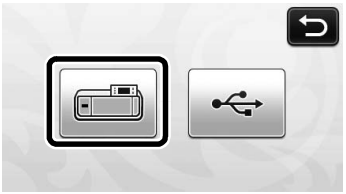


▶ 保存先選択画面が表示されます。

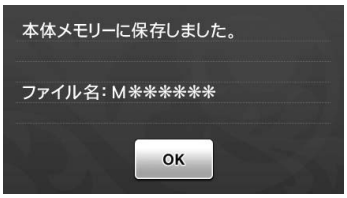
■ データを保存する

❶ データの保存先を選択します。

データの保存先として、USB メモリーか本体の内蔵メモリーのいずれかを選択します。お好みの保存先を押してください。この例では、本体の内蔵メモリーを選択します。USB メモリーに保存する場合、本体の USB ポートに USB メモリーを接続してください。



▶ キーを押すと保存を開始します。保存が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



❷「OK」キーを押して、データの保存を完了します。

▶ 保存先選択画面が再び表示されます。

❸ 操作パネルの▦を押してマットを排出し、マットから素材をはがします。

■ カットデータを呼び出す

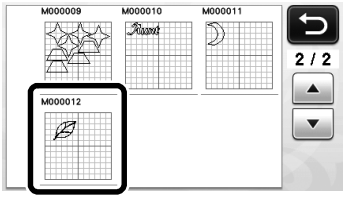
保存したカットデータを呼び出して、カットします。

❶ マットにカットする素材を貼りつけて、マットを本体に挿入します。

- 素材のマットへの貼りつけ方について詳しくは、P.13 「マットと刃の組み合わせ」を参照してください。
- マットの挿入について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

❷ 保存したカットデータを呼び出します。

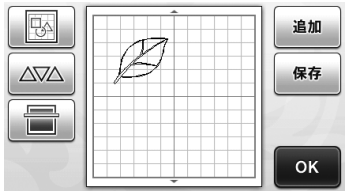
- データの呼び出し方について詳しくは、P.42 「データを呼び出す」を参照してください。

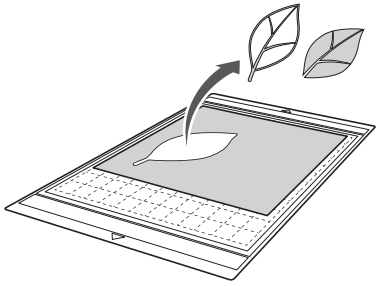


▶ 模様レイアウトのプレビューが表示されます。

❸ 必要に応じてカットデータを編集して、カットまたはドローします。

カットの手順については、P.21 「マットを挿入する」と P.22 「カットする」を参照してください。

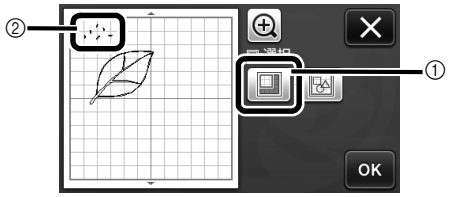




お知らせ

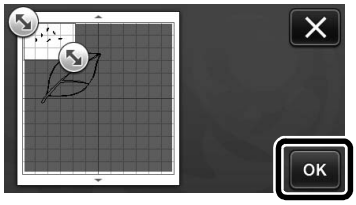
- スキャン時にできた小さな点や不要な線は、スキャン画像をカットデータに変換した後で削除できます。

▶ カットデータを模様レイアウト画面に呼び出した後、不要な点や線を選択して削除します。模様の選択について詳しくは、P.32 「複数の模様を選択する」を参照してください。

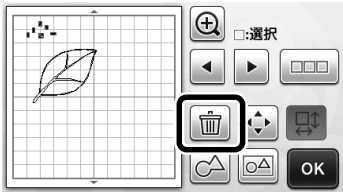


① 複数の模様を選択できます。
② 不要な点や線

▶ 不要な点の範囲を指定してから、「OK」キーを押します。



▶ を押して、選択したすべての点を削除します。



画像を編集する

スキャンした画像データの出力レベルを調整することで、画像の編集ができます。

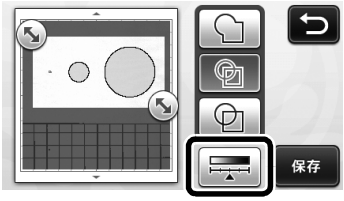
以下の画面を表示します

画像編集画面	→ チュートリアル 4：P.51 「カットデータを編集する」手順❶

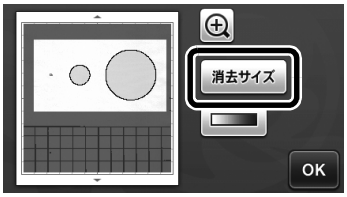
■「消去サイズ」を設定する

カットデータに変換する模様の大きさを設定して、不要な小さな模様（点線など）をカットデータから取り除くことができます。この例では、3 種類の異なるサイズ（4 mm、40 mm、100 mm）のイメージをスキャンします。

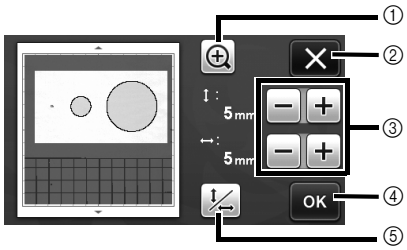
❶ 3つの認識オプションから1つ選択し、を押して機能選択画面を表示します。



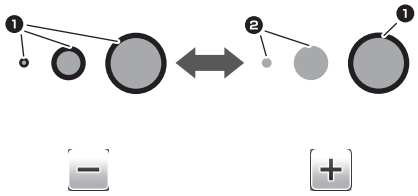
❷ 消去サイズ を押して、サイズを設定する画面を表示します。



❸ カット線に変換される、最小の画像のサイズを設定します。設定したサイズより小さい画像は、カット線に変換されません。



① 拡大
③ サイズ調整キー
⑤ 縦横比の固定／固定解除

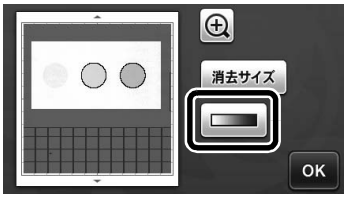


❶ カット線を作成する
❷ カット線を作成しない
▶「OK」キー（④）を押して設定を適用します。
✕（②）を押すと、設定を適用せずに元の画面に戻ります。

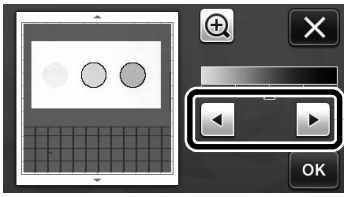
■ 画像検出レベルを設定する

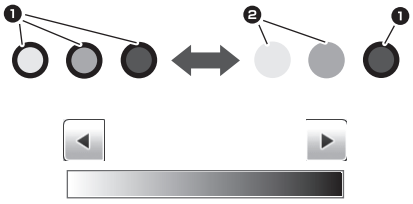
画像を 2 階調（白黒）の画像に変換して、その画像をもとにカット線を作成します。このとき、画像検出レベル（濃度）を設定できます。
この例では、3 種類の異なる濃度（薄い、普通、濃い）の画像をスキャンします。

❶ 機能選択画面で▬を押して、画像検出レベルを設定する画面を表示します。



❷ ◀または▶を押して、画像を 2 階調に変換するためのしきい値を設定します。





❶ カット線を作成する
❷ カット線を作成しない
▶「OK」キーを押して設定を適用します。
✕を押すと、設定を適用せずに元の画面に戻ります。

画像をスキャンする（USB に保存）

紙や布にプリントされた模様、画像、型紙、手描きイラストなどをスキャンして、画像データとして USB メモリーへ保存することができます。
カットする前のバックアップのために元イメージをデータ化して保存しておく場合などに便利です。

スキャンする際の注意

■ スキャン仕様

- スキャン形式：カラー
- 保存形式：jpg
- 最大スキャン範囲：296 mm × 298 mm

■ スキャンできる素材

	弱粘着カッティングマット／カッティングマット使用時
厚み	最大 1.5 mm
タイプ	紙／布

お知らせ

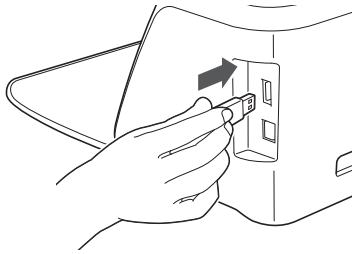
- 「USB に保存」モードのとき、別売の 12" × 24" (305 mm × 610 mm) マットは使用できません。
- 別売のスキャン用マットを使用すると、透明シートとマットの間に素材を挟んで固定するため、素材にマットを粘着させずにスキャンすることができます。

チュートリアル 5　USB メモリーにスキャンデータを保存する

このチュートリアルでは、紙に描かれたイラストを JPEG データとして USB メモリーに保存します。

■ スキャン設定

❶ USB メモリーを本体の USB ポートに接続します。



❷ ホーム画面で「スキャン」キーを押してスキャンモードを選択します。



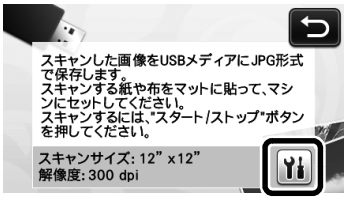
❸ スキャンモード選択画面で「USB に保存」を選択します。



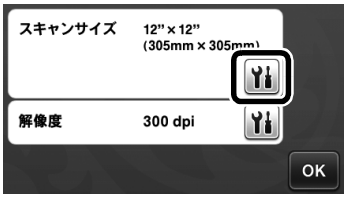
▶ メッセージが表示されます。

❹ を押してスキャン設定画面を表示します。

スキャンサイズと解像度を設定します。

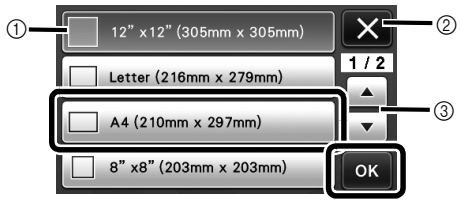


❺「スキャンサイズ」の を押して、スキャンサイズ設定画面を表示します。



❻ スキャン範囲のサイズを選択します。

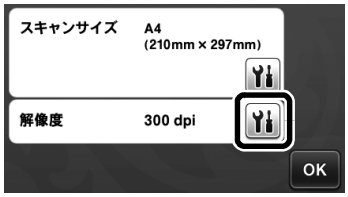
リストからスキャンする素材のサイズを押します。この例では、A4 サイズを選択します。



① サイズ選択キー
② 設定を適用しないで元の画面に戻ります。
③ リストがスクロールします。

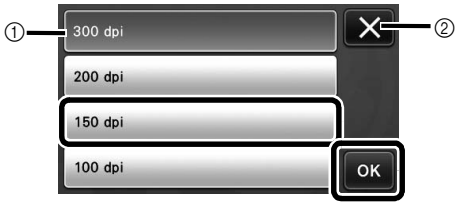
▶ 選択したキーがハイライト表示された後、「OK」キーを選択して設定を完了してください

❼「解像度」の を押して、スキャン解像度設定画面を表示します。



❽ 解像度を選択します。

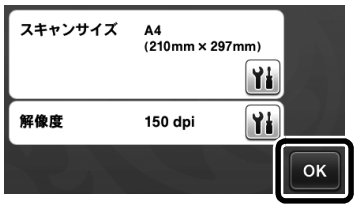
リストから、スキャンする解像度のキーを押します。この例では、150dpi を選択します。



① 解像度選択キー
② 設定を適用しないで元の画面に戻ります。

▶ 選択したキーがハイライト表示された後、「OK」キーを選択して設定を完了してください。

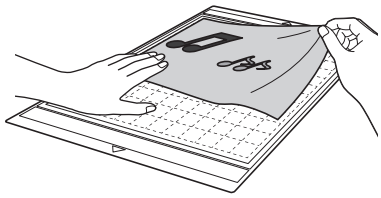
❾ 設定を確認して、「OK」キーを押します。



▶ メッセージが表示されます。

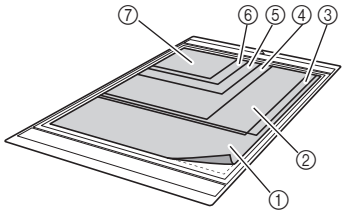
■ スキャンして保存する

❶ スキャン素材をマットに貼ります。



お願い

- スキャン素材は、横方向においてください。



① 12" × 12" (305 mm × 305 mm)
② Letter (216 mm × 279 mm)
③ A4 (210 mm × 297 mm)
④ 8" × 8" (203 mm × 203 mm)
⑤ 5" × 7" (127 mm × 178 mm)
⑥ 4" × 6“ (102 mm × 152 mm)
⑦ 3.5" × 5" (89 mm × 127 mm)

❷ マットをマット送りに差し込みます。

マットの挿入について詳しくは、P.21 「マットを挿入する」を参照してください。

❸ スタート／ストップボタンを押して、スキャンを開始します。

▶ スキャン素材がスキャンされると同時にデータが保存されます。

▶ スキャンと保存が完了すると、完了メッセージが表示されます。

❹「OK」キーを押して、「USB に保存」モードを終了します。



❺ 操作パネルの を押して、マットを排出します。

❻ 本体の USB ポートから、USB メモリーを取り外します。

❼ パソコンで、保存データを確認します。

第 5 章　付録

消耗品

交換の目安

本製品を安全にご使用いただくため、以下の交換時期を目安にして、消耗品を新しいものに交換してください。ご購入は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までお問い合わせください。別売品について詳しくは、P.68 「別売品」を参照してください。

マット

- 粘着力が落ちたとき
- カット跡が多くなったとき

刃

- 切り口が粗くなり、作品の仕上がりの質が劣化したとき
- 切れ味が悪くなったとき

布用粘着サポートシート

- 粘着力が落ちたとき
- カット中に貼りつけた布がねじれるようになったとき

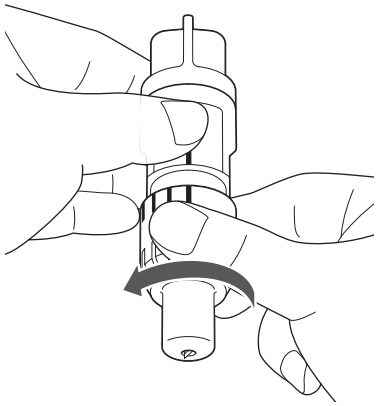
スキャン用マット

- マットやカバーシートが汚れて、スキャン画像の質が劣化したとき

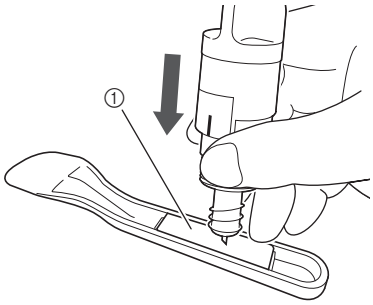
刃を交換する

■ 取り外す

❶ ホルダーのキャップを左に回して外します。

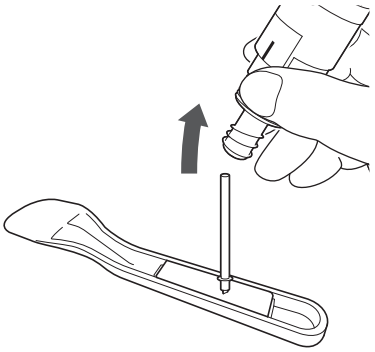


❷ 付属のスパチュラの裏面のゴム部分に、刃をまっすぐに差し込みます。



① ゴム部分

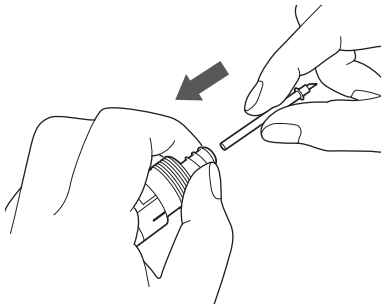
❸ ホルダーを引き上げて、刃をゴム部分に残します。



■ 取り付ける

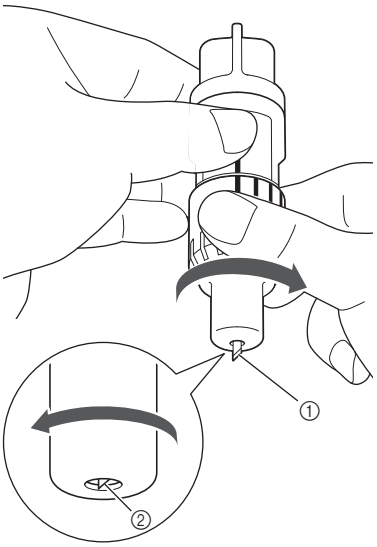
❶ 新しい刃の軸の部分を持って、ホルダーの差込口へ差し込みます。

刃の軸はホルダーの中に磁石で固定されます。軸をゆっくりと差し込み、軸が磁石にカチッと収まったら、ゆっくりと手を放してください。



❷ ホルダーのキャップを右に回してしめます。

刃の出し量が最大になるまでキャップを完全にしめ込み、そのあと刃が見えなくなるまでキャップをゆるめます。



① キャップをしめて刃の出し量を最大にします。
② 刃が見えなくなるまでキャップをゆるめます。

お願い

- 刃の交換後は、試し切りをして刃の出し量を調整してください。詳細はP.20 「試し切りをする」を参照してください。

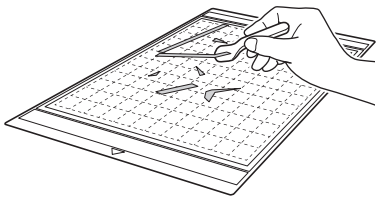
⚠ 注意

- 製品から取り外したホルダーは、必ず刃をホルダーの中に収め、保護キャップを装着してください。
- 刃が出た状態でホルダーを放置しないでください、けがをするおそれがあります。
- 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- 保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。

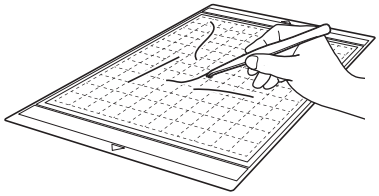
掃除する

■ マットの掃除

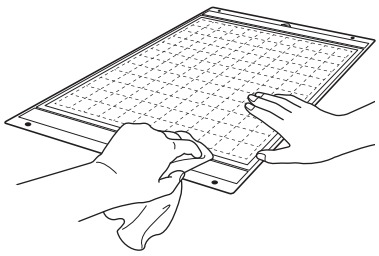
マットに付着した模様の切れ端や切りクズ、ホコリなどは、マットの粘着力低下や本製品の動作の妨げとなる場合があります。定期的にマットを掃除してください。付属のスパチュラを使用して、マットに付着した切れ端などを軽くこすり落としてください。



マットに付着した繊維クズは、市販のピンセットなどを使用して取り除いてください。



マットの表面やまわりの部分にあるマット読み取りマーク（点）が汚れている場合は、乾いた布でふき取ってください。



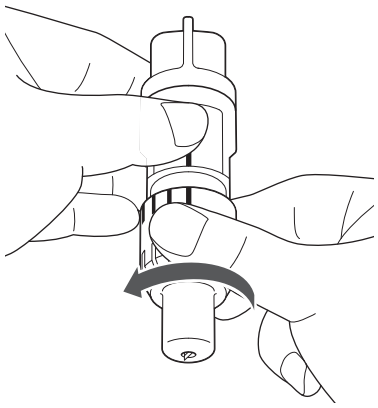
お願い

- マットの掃除の際、アルコールや水を使用しないでください。
- マットを使用しないときは、クリーニング後に保護シートを貼って保管してください。保管の際は、湿ったマットに保護シートを貼らないでください。マットの粘着力が落ちる場合があります。
- 折り曲げないで保管してください。
- マットは、高温多湿や直射日光を避けて、室温で保管してください。
- マットの粘着力がなくなってきたら、新しいマットに交換してください。別売のマットについてはP.68 「別売品」を参照してください。

■ ホルダーを掃除する

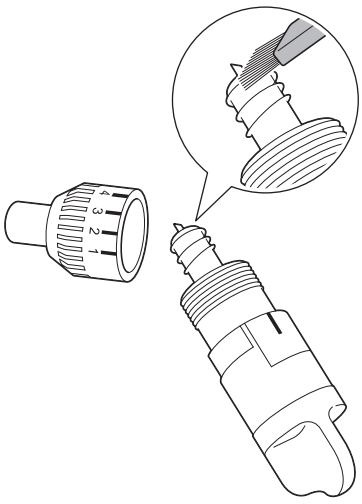
ホルダー内部に素材の切れ端や切りくずがたまると、正常に動作しなくなります。定期的にホルダーを掃除してください。

❶ ホルダーのキャップを左に回して外します。



❷ 市販のブラシを使って、切れ端や切りくずを掃除します。

特に、刃のまわりの切れ端や切りくずをよく掃除してください。刃とホルダーの間にゴミがたまると、刃が動かなくなったり、カットの仕上がりが悪くなることがあります。



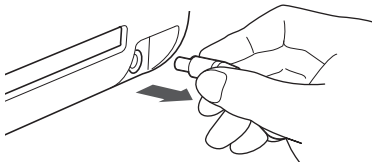
❸ ホルダーのキャップを右に回してしめます。

ホルダーのキャップの取り付け方について詳しくは、P.58 「取り付ける」を参照してください。

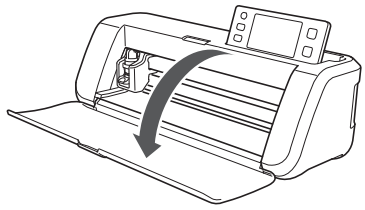
■ 本体内部を掃除する

スキャンした画像に縦線が入ったり空白領域ができる場合は、本体内部にクズやホコリがたまっていることがあります。また、ホコリがローラーに巻き込まれると、マットの挿入や排出が正しく動作しなくなります。やわらかいブラシなどを使用して掃除してください。

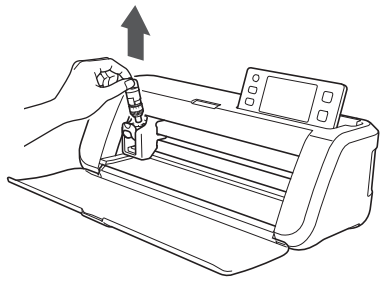
❶ 本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。



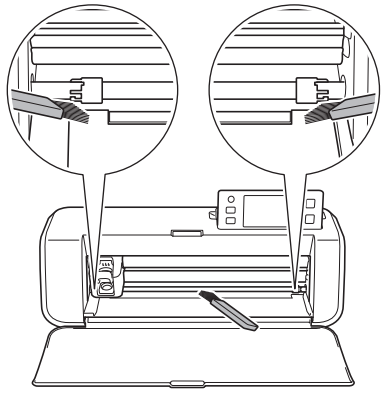
❷ フロントトレイカバーを開けます。



❸ キャリッジからホルダーを取り外します。



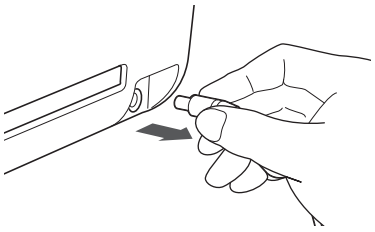
❹ 市販のブラシを使用して、マット送りとキャリッジの周囲を掃除します。



スキャナーガラスを掃除する

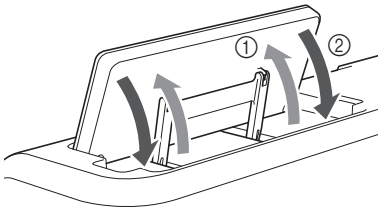
スキャンした画像に縦線が入ったり、空白領域ができる場合やスキャンがきれいにできない場合は、スキャナー部分のスキャン装置が汚れている場合があります。本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除してください。

❶ 本体の電源を切り、コンセントを抜き、背面の電源ジャックから AC アダプターのプラグを抜きます。

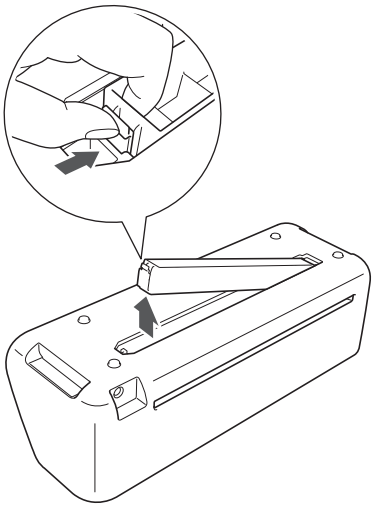


❷ 操作パネルを収納します。

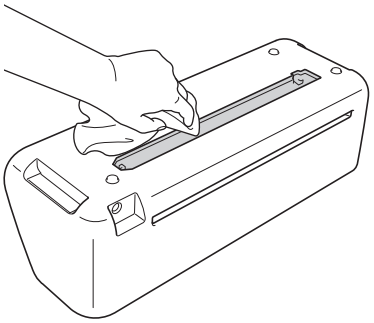
パネルがまっすぐになるまで起こしてから、後ろに倒して収納します。



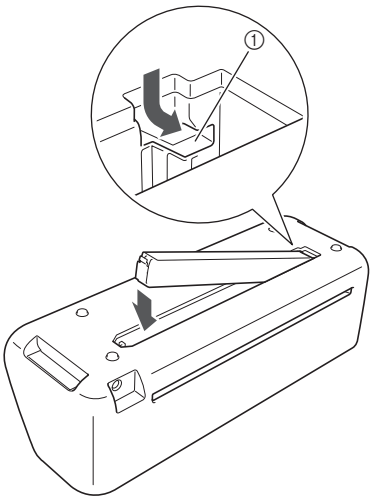
❸ 本体の底部にあるつまみを押しながら、カバーを引き上げます。



❹ **やわらかく繊維がでない布を水で濡らして固く絞り、底面の内部奥にあるスキャナーガラスを拭きます。**



❺ **取り付け口のミゾにカバーの突起部分をはめ込んだあと、カバーを本体へ取り付けます。**



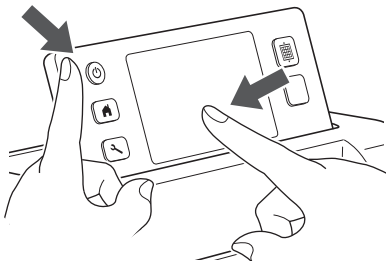
① ミゾ

❻ **掃除の後は、テストスキャンをしてください。**

画面を調整する

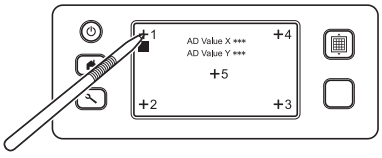
画面上のキーを押しても正しく反応しない（操作に反応しない、あるいは操作と異なる反応をする）ときは、以下の手順に従って画面を調整してください。

❶ **指を液晶画面上に置いた状態で、本体の電源を切り、再度電源を入れます。**



▶ タッチパネル調整画面が表示されます。

❷ **付属のタッチペンを使用して、画面に表示された「＋」印の中央を 1 から 5 の順番に押します。**



▶ タッチパネルの調整が終わると、「SUCCESS」のメッセージが表示されます。

❸ **電源を切り、再度電源を入れます。**

お願い

- 画面を調整しても正しく反応しない場合や、画面を調整できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

困ったとき

本製品が思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp/）の Q&A を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

電源

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
本製品の電源が入らない。	電源プラグが正しく本体に接続されていない。	電源プラグが本体に接続されていること、および電源コードが AC アダプターとコンセントに接続されていることを確認します。	→ P.11

マット

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
マットを挿入できない。	マットをセットしたとき、送りローラーの下にマットが当たっていない。	マットが左右の送りローラーの下に当たるようにセットします。	→ P.21
	マットを挿入するとき、送りボタンを使用していない。	マットをマット送りに軽く当てて、送りボタンを押します。	→ P.21
マットが認識されない。	マット挿入部にある、マット読み取りマーク（点）が汚れている。	マット読み取りマーク（点）および、そのまわりを掃除します。	→ P.59
	マット挿入部にある、マット読み取りマーク（点）が、マットに貼りつけた素材で隠れている。	素材がマットの粘着面に収まるように貼り付けます。	→ P.13
	素材を貼った面を下に向けてマットを差し込んでいる。	素材を貼った面を上に向けてマットを差し込みます。	→ P.21
マットがまっすぐに送られない。	マット送りに対して、マットを斜めに差し込んでいる。	送りボタンを押して、マットを取り出したあと、まっすぐ差し込みなおします。	→ P.21 → P.22
	マットの端が変形して（曲がって）いる。	新しいマットに交換します。	→ P.57
カット／スキャン素材がマットに貼りつかない。	素材がマットの粘着面からはみ出している。	素材がマットの粘着面に収まるように貼り付けます。	→ P.13
	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	→ P.57
マットを排出できない。	本体の送り機構にカット／ドロー／スキャン素材が詰まっている。	マット挿入中、送りボタンを押して、マットを取り出します。マットを取り出せない場合は、電源を切り、ゆっくりとマットを引き抜きます。	→ P.22
マットを挿入するとき、貼りつけた素材がはがれる。	素材の重みでマットが水平になっていない。	手でマットを水平に保ちながら差し込みます。	→ P.21
	マットの粘着力が弱くなっている。	新しいマットに交換します。	→ P.57

紙／布詰まり

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
マットを送ることができない。	本体のスロット周辺に障害物がある。	本体のスロット周辺にマットを排出できるスペースを確保します。	→ P.10
	本体を置いている場所が水平でない。	本体を水平で段差のない場所に置きます。	—
マット挿入中に、マットあるいは素材が送りローラーに引っかかった。	マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されない。	送りボタンを押してマットを取り出したあと、新しいマットに交換します。	→ P.22 → P.57
	素材がマットの粘着面からはみ出している。	送りボタンを押してマットを取り出したあと、素材をマットの粘着面に収まるように貼ります。	→ P.13 → P.22

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
カット／ドロー中に、マットあるいは素材が送りローラーに引っかかった。	- マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されない。 - 素材がマットの粘着面からはみ出している。	スタート／ストップボタンを押して、操作をストップします。画面の表示にしたがって、送りボタンを押してマットを排出します。マットが排出されない場合は、本体の電源を切り、ホルダーを取り外してから、マットを手で取り出します。 マットを排出したあと、新しいマットに交換するか、素材をマットの粘着面に収まるように貼り直します。	→P.13 →P.22 →P.57
カット／ドロー中に、マットが斜めに送られて、そのまま送られなくなった。			
カット／ドロー／スキャン中に、素材がマットからはがれた。			

カット

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
刃の先にカット素材がひっかかる。	ホルダーにクズやほこりがたまっている。	ホルダーを掃除します。	→P.59
	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	→P.57
	本製品に対応していないカット素材を使用している。	本製品に対応しているカット素材に交換します。	→P.12
操作の途中で本体が停止した。	安全のため、カット／ドロー中にパネルを押すと本製品は動作を停止します。	画面に表示されるメッセージに従って操作します。「OK」キーを押してキャリッジを元の位置に戻します。マットを差し込んで、操作をやり直します。	—
カット素材がすべて切り取られておらず、切り残しがある。	素材に適している刃を使用していない。	素材に適した刃に交換します。	→P.13
	ホルダーの刃の出し量が少なすぎる。	ホルダーをキャリッジから取り外して、刃の出し量を調整します。	→P.19
	マットの粘着力が弱くなって、素材が固定されていない。	新しいマットに交換します。	→P.57
	刃が消耗している。	新しい刃に交換します。	→P.57
	本製品に対応していない素材を使用している。	本製品に対応しているカット素材に交換します。	→P.12
	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	→P.19 →P.24
	ホルダーにクズやほこりがたまっている。	ホルダーを掃除します。	→P.59
	レイアウトした模様の間隔が狭すぎる。	模様を少し離してレイアウトし直します。「模様間隔」を「3」以上に設定して、模様をレイアウトし直すか、自動レイアウトを行います。	→P.25 →P.39
	布をカットするときに、布用粘着サポートシートもアイロン接着シートも使用していない。	カットの前に、布用粘着サポートシートをマットに貼るか、アイロン接着シートを布に貼ります。	→P.14 →P.16
	マットに貼った布用粘着サポートシートに、布がしっかりと貼りつけられていない。	付属のスパチュラの持ち手で布を押しつけて、布をマットにしっかりと固定します。	→P.15
	アイロン接着シートがしっかりと布に貼りつけられていない。	布の裏側からアイロン接着シートにアイロンをかけてしっかりと布に貼りつけます。	→P.17
マットの裏面まで切りキズがついている。	刃の出し量が多すぎる。	ホルダーをキャリッジから取り外して、刃の出し量を調整します。	→P.19
	「カット圧力」が適当でない。	設定画面で「カット圧力」を調節します。	→P.19 →P.24

ドロー

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
ドロー線が思ったよりも太かった（細かった）。	「ドロー速さ」あるいは「ドロー圧力」が適当でない。	設定画面で「ドロー速さ」と「ドロー圧力」を調節します。太い線をドローするときは、ドロー圧力を強くします。細い線をドローするときは、ドロー圧力を弱くします。太い線をドローするときは、ドロー速度を遅くします。細い線をドローするときは、ドロー速度を早くします。設定を調節した後は、試し描きをしてください。	→ P.24

スキャン

症状	原因（結果）	対処	参照ページ
意図しない画像がスキャンされた。	スキャン範囲が誤って設定されている。	「USB に保存」モードでは、紙のサイズを「スキャンサイズ」で設定します。	→ P.55
		「ダイレクトカット」モード、または「カットデータ作成」モードでは、スキャンの後に画像を編集画面でトリミングします。	→ P.49 → P.52
きれいにスキャンできない（スキャン画像に線が入っている）。	スキャナーガラスが汚れている。	本体の底面にあるスキャナーガラスを掃除します。	→ P.60
	スキャン素材が汚れているか、キズがついている。	「カットデータ作成」モードでは、画像編集画面で細い線やゴミを消去します。	→ P.53
マットに印字されている線がスキャンされた。	スキャン素材がすけて、マットに印字された線がスキャンされた。	「カットデータ作成」モードでは、画像編集画面で線を消去します。	→ P.53
スキャン画像が赤い。	別売のスキャン用マットを使用するとき、青い固定テープをはがさずにスキャンした。	スキャンの前に、別売のスキャン用マットの青い固定テープをはがします。	—

エラーメッセージ

操作中に表示されるエラーメッセージの一部と、対処方法の一覧です。
メッセージの指示に従うか、この表に記載される対処方法を確認して、必要な操作を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。

エラーメッセージ	原因／対処
不具合が生じました。電源をいったん OFF してから再度 ON してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
内蔵メモリーが壊れています。 メモリーを初期化します。	内蔵メモリーのデータが壊れています。本製品の電源を切って、再起動してください。
模様数が多すぎるため、この操作はできません。	このメッセージが表示される場合は、以下のいずれかが原因です。 - 「ダイレクトカット」モードで、301 模様以上の模様がカット模様として認識された。 - 「カットデータ作成」モードで、301 模様以上の模様をカット模様として保存しようとした。 使用する模様の数を減らしてください。 - 小さな模様をたくさんスキャンした後、大量のカット線を作成しようとしている。 - 画像検出レベルを薄い色を検出する設定にして、大量の薄い色の模様からカット線を作成しようとしている。 （→ P.54） スキャン素材の模様の数を減らしてから、もう一度スキャンしてください。
模様が存在しないため、この操作はできません。	スキャニングによって、読み取られたイメージまたは線がありません。 スキャンしようとするイメージを再確認して、スキャン範囲や画像検出レベル、消去サイズを調整してください。 またはスキャン素材に描かれたイメージを読み取りやすいものに変更してください。
文字列が長すぎて、マットに配置できません。	入力文字の長さが 12 インチマットの幅（最大有効幅 297 mm）に収まるまで、文字数を少なくしてください。
刃の位置の初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れてください。
ヘッドの初期化に失敗しました。 電源を OFF してください。	
これ以上模様を組み合わせることができません。	301 模様以上の模様は組み合わせられません。模様の数を減らしてください。
有効範囲内に模様がありません。	カット／ドロー範囲内にカットまたはドローする模様がありません。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の中に模様を移動させてください (P.24)。
容量不足のため、データを保存できません。	本体内蔵メモリーか、USB メモリー内のデータを消去してください。
マットに余白がありません。 模様の大きさ、マットの余白、または設定画面のカット範囲、模様間隔を確認してください。	模様を配置するために次のいずれかを行ってください。 - 模様レイアウト画面上にすでに配置してある模様を消す。 - 配置した模様のサイズを小さくする。 - 「カット範囲」の設定値を大きくする (P.24)。 - 「模様間隔」設定で模様レイアウトの間隔設定を狭くする。
マットに余白がありません。 最大個数：10（例。模様のサイズにより異なります）	模様が多いため配置できません。表示された個数まで模様の数を減らしてください。
レジューム記憶を呼び出しますが、よろしいですか？	直前の操作で使用していたデータを引き続き使用したい場合は、「OK」キーを押してください（P.25）。

エラーメッセージ	原因／対処
模様を 1 つに統合できませんでした。 組み合わせが無効です。	模様を統合中に表示されるメッセージです。 ぬいしろが付加された模様と、ぬいしろが付加されていない模様を統合しようとしています。ぬいしろの付加された模様のみ、またはぬいしろが付加されていない模様のみを選択して操作してください。
模様を結合できませんでした。 許可されていない模様が含まれているか、または重なりがありません。	模様を結合するときに表示されるメッセージです。 - 模様が重なっていません。選択した模様が重なるように配置を変更してください。作品によっては、模様を一体化させて編集する方法も有効です。 - ぬいしろのある模様が選択されています。ぬいしろ設定を解除してから、結合してください。 - 閉じていない線が含まれていると、模様は結合できません。模様を一体化させたい場合は、統合機能（グループ化）を使用してください。
本体のぬいしろ幅設定が大きいため、呼び出すデータの模様どうしが重なる可能性があります。	模様に設定されたぬいしろ幅が、前回操作時より大きくなった場合、隣接する模様の端が重なる場合があります。ぬいしろ幅の設定値を調整してください。または模様の配置間隔を広げてください。
読み取りエラーが発生しました。 電源を OFF してください。	本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れ、操作をやり直してください。
データを削除できませんでした。	本製品で使用できない USB メモリーを使用している可能性があります。USB メモリーを取り外して、再度操作してもメッセージが表示される場合は、USB メモリーを交換してください。本製品に対応している USB メモリーについては、ブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp/）で確認してください。
データを読み込めませんでした。	
データを保存できませんでした。	
マットのマークが識別できません。 マットを排出します。	認識できないマットが挿入されています。本製品専用のマットを使用していない場合は、専用のマットを使用してください。
	マットの端にあるマット読み取りマーク（点）およびその周りを掃除してください。それでも認識されない場合は、新しいマットに交換してください。
ぬいしろをつけられない模様が含まれています。	ぬいしろ設定は複雑な形状の模様には使用できません。シンプルな形の模様を選択してください。 ぬいしろ幅を 2 mm 以上にすると、ぬいしろを付加できることがあります。
アウトラインに幅をつけてカットできない模様が含まれています。	アウトラインに幅をつける設定は、複雑な形状の模様には使用できません。シンプルな形の模様を選択してください。
USB メディアには、保存できない模様が含まれています。 本体メモリーのほうに保存してください。	模様によっては USB メモリーに保存できない場合があります。
有効範囲内に収まっていない模様があります。 その模様はカットやドローができませんが、続行しますか？	模様がカット／ドロー範囲の外にあります。 カット／ドロー範囲外の模様をカットまたはドローしない場合は、そのまま続けてください。 範囲外の模様をカットまたはドローする場合は、「カット範囲」の設定値を大きくするか、「カット範囲」の設定範囲の中に模様を移動させてください (P.24)。
データが複雑なため、変換できませんでした。	模様を統合するとき、または結合するとき： レイアウトした模様の数を減らすか、模様をシンプルな形に変更してください。
このマットは使用できません。	操作中の機能に使えないマットです。マットを交換してください。

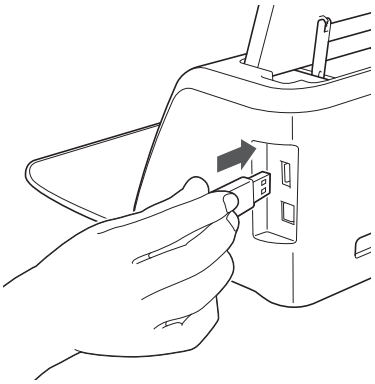
ソフトウェアのアップグレードについて

USB メモリーを使って本製品のソフトウェアをアップグレードすることができます。アップグレード情報については、ブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp/）を参照してください。アップグレードファイルが掲載されている場合は、ファイルをダウンロードして、以下の手順で本製品をアップグレードしてください。

❶ 操作パネルの [メニュー] を押しながら、[電源] を押して本体の電源を入れます。

❷ アップグレードファイルを保存した USB メモリーを本体の USB ポートに差し込みます。

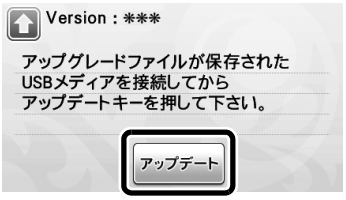
USB メモリーには、アップグレードファイル以外のデータを入れないでください。本製品が誤動作を起こし、停止するおそれがあります。



お願い

- 本製品は USB ハブに対応していません。USB ポートには USB メモリーを直接差し込んでください。

❸「アップデート」キーを押してアップグレードを開始します。



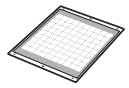
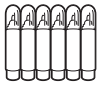
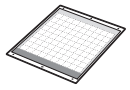
▶ アップグレードが完了すると、終了メッセージが表示されます。

❹ USBメモリーをUSBポートから取り外します。

❺ 本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

別売品

別売品として、以下のアクセサリーを用意しています。

1. 
2. 
3. 
4. 
5. 
6. 
7. 
8. 
9. 
10. 
11. 
12. 
13. 
14. 
15. 
16. 

No.	名称	モデル名
1	弱粘着カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm) (青緑色)	CAMATP12
2	弱粘着カッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm) (青緑色)	CAMATP24
3	替え刃ホルダー (青緑色) (刃は含まれません)	CAHLP1
4	替え刃	CABLDP1
5	スキャン用マット 12" × 12" (305 mm × 305 mm)	CAMATS12
6	カッティングマット 12" × 12" (305 mm × 305 mm) (青緑・紫色)	CAMATF12
7	カッティングマット 12" × 24" (305 mm × 610 mm) (青緑・紫色)	CAMATF24
8	厚物用替え刃ホルダー (紫色) (刃は含まれません)	CAHLF1
9	厚物用替え刃	CABLDF1
10	ペンホルダー	CAPENHL1
11	カラーペンセット	CAPEN1
12	チャコペンセット	CAPEN2
13	カッティング模様 USB メモリー	*
14	アイロン接着シート (白色剥離紙)	CASTBL1
15	布用粘着サポートシート	CASTBL2
16	中粘着カッティングマット 12" x 12" (305 mm × 305 mm) (青緑・ピンク色)	CAMATM12

* 詳しくは、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅 497mm × 奥行き 175mm × 高さ 157mm
製品質量	3.7 kg
電源	AC100V 50/60Hz（AC アダプター）
最大消費電力	25W（カット時）

索引

U

USB に保存（スキャン機能） 55
USB ポート 10, 42, 67

あ

アイロン接着シート 13, 16
アウトライン距離 50
アウトライン／枠（ダイレクトカット） 50

え

エラーメッセージ 65

お

お手入れ 59
オートシャットダウン 24, 25
オープニング画面 12, 25

か

各部の名称とはたらき 10
画像トリミング画面 49, 50
画像編集 53
画像編集画面 51, 53
カット 26
カット圧力 19, 24, 28
カットデータ作成（スキャン機能） 51
カット速さ 24, 28
カット範囲 24, 36
カット（多色模様） 28
画面調整 61

き

キャリッジ 10, 20

け

結合（模様編集） 37
言語 24

こ

交換の目安 57
困ったとき 62

し

使用素材の条件（カット／ドロー） 12
使用素材の条件（スキャン） 48, 55

す

「スキャン」モード 9, 48
スロット 10, 21

せ

設定画面 24

そ

操作パネル 10, 11
ソフトウェアアップグレード 67

た

ダイレクトカット（スキャン機能） 48
試し切り 20
単位 24

て

電源入／切 11
電源ジャック 10, 60
電源ボタン 10, 12, 26
データ呼び出し 42

と

統合（模様編集） 37
ドロー圧力 24, 45
ドロー機能 44
ドロー速さ 24, 45

に

認識方法（カットデータ作成） 51

ぬ

ぬいしろ幅 25, 35, 45
布用粘着サポートシート 13, 14

は

刃 13
背景画像スキャン 39
背景濃淡 24
刃の交換 57
刃の出し量 19, 23
刃（厚物用） 13, 18

ひ

標準目盛設定 19

ふ

複数選択（模様編集） 32
ブザー音 24

へ

別売品 68
編集（模様） 34
編集（レイアウトした模様） 36

ほ

保存（カットデータ作成（スキャン機能）） 52
保存（スキャン画像） 55
保存（レイアウトしたデータ） 42
ホルダー固定レバー 10, 20
ホルダーの取り付け 20
ホーム画面 12, 26

ま

マット挿入 21
マット排出 22
マット（カッティングマット） 13
マット（弱粘着カッティングマット） 13

も

文字入力機能 41
模様カテゴリー選択画面 26
模様間隔 25
模様サイズ画面 29
模様サブカテゴリー選択画面 29
模様選択画面 26, 29
模様パーツ編集画面 30, 35
模様パーツリスト画面 29
模様編集画面 26, 34
「模様」モード 9
模様レイアウト画面 27, 36

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社は本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 5 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室」にご相談ください。

■ お客様相談室 050-3786-1134

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室」までお問い合わせください。

〒467-8577　愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室　　Tel：050-3786-1134
　　Fax：052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日　9：00 ～17：30
休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- 製品背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。
http://www.brother.co.jp/

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
http://support.brother.co.jp/

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467-8561

891-Z01
Printed in China

XF7831-001①